

エプソンの会計シリーズのご紹介

エプソン販売株式会社

※ 本資料の他者商標の帰属先については、エプソンのホームページをご参照ください。

CONTENTS

1. 「エプソンの会計シリーズ」の概要
2. 税務申告システム 移行スケジュール
3. セットアップ手順
4. R4シリーズからのコンバート手順
5. 法人税 操作の変更点
6. システム間データ連携
7. 電子申告 操作の変更点



01

「エプソンの会計シリーズ」の概要

「エプソンの会計シリーズ」ラインアップ(税務申告)

	「R4シリーズ」	「エプソンの会計シリーズ」
税務申告	法人税顧問 R4 / INTER KX 法人税 R4	エプソンの法人税
	減価償却顧問 R4 / INTER KX 減価償却 R4 / 減価償却応援 R4	エプソンの減価償却・資産管理
	内訳・概況書顧問 R4 / INTER KX 内訳・概況書 R4	エプソンの内訳・概況書
	所得税顧問 R4 / INTER KX 所得税 R4	エプソンの所得税
	相続税顧問 R4 / INTER KX 相続税 R4	エプソンの相続税
		エプソンの贈与税
		エプソンの財産評価 エプソンのかげ地割合計算オプション NEW
	消費税顧問 R4	エプソンの消費税
	申請・届出書顧問 R4 / INTER KX 申請・届出書 R4	エプソンの申請・届出書 エプソンの移転価格文書化オプション NEW
	事務所管理顧問 R4 / INTER KX 事務所管理 R4	エプソンの事務所管理
	電子申告顧問 R4 / INTER KX 電子申告 R4	エプソンの電子申告
		エプソンの事業所税 NEW
		エプソンのグループ通算(通算) NEW
		エプソンのグループ通算(個社) NEW



「エプソンの会計シリーズ」税務申告システムの主な変更点

- ✓ 税務申告システム※は、NTTデータとの共同開発製品に変わります。
※エプソンの消費税、エプソンの事務所管理除く
- ✓ 基本的な機能・操作性は、「達人シリーズ」と同一となります。
(R4から操作性が変わります)
- ✓ 財務・給与等との連動などのため、エプソン製品専用機能の追加対応があります。
- ✓ 税務申告システム※は、「基本ライセンス(スタンドアローン)」と「フリーライセンス」の2種類となります。 ※エプソンの電子申告、エプソンのグループ通算は「フリーライセンス」のみ
- ✓ サーバーPCにもアプリケーションをセットアップしてください。
- ✓ R4シリーズからのコンバート(データ移行)作業が必要です。
- ✓ 起動時に毎回ユーザー認証を行います。インターネット環境が必須です。



02

税務申告システム 移行スケジュール

プログラムの移行スケジュール

新シリーズのプログラムが利用できるのは、2025年7月からです。ただし、システムによって時期が異なります。

「エプソンの会計シリーズ」リリース時期

2025年 7月 財務会計、給与計算、消費税、事務所管理

2025年 8月 法人税、内訳・概況書、所得税、減価償却、電子申告、申請・届出書

2025年10月 相続税、財産評価

2026年 3月 贈与税、事業所税、グループ通算

2025年7月

R4シリーズのみ利用可能

順次、「エプソンの会計シリーズ」のご利用が可能に

2025年7月以降、新シリーズのご利用が可能となります。
R4シリーズをご契約のお客様は、買い替えなしに新シリーズをご利用いただけます。



新シリーズとR4シリーズの税制改正対応

「エプソンの会計シリーズ」は、令和7年度分の申告から対応できます。（「エプソンの贈与税」を除く）

R4シリーズは、令和7年度分の申告に引き続き対応します。

ただし、**令和8年度以降の申告については、新シリーズのみでの対応**となりますので、操作等のご確認含め早めの移行をご検討ください。

申告年度	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年
R4シリーズ	○	○	-
エプソンの会計シリーズ	-	○	○

※令和6年以前の申告および**過年度修正申告は、R4シリーズで実施してください。**



03

セットアップ手順

「エプソンの会計シリーズ」ご利用までの流れ

①



ログイン

ユーザー向け新管理サイト
「エプソンの会計ポータル」に
ログインします。

②



規約の同意

「エプソンの会計ポータル」の
利用規約を確認のうえ
同意します。

③



担当者の追加

エプソンの会計シリーズを
利用する全員を担当者
として登録します。

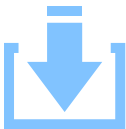
④



ユーザー設定

エプソンの会計シリーズを
利用するユーザー情報を
Eiボードに設定します。

⑤



Eiボードのセットアップ

Eiボード Ver25.1を
セットアップします。
自動バージョンアップ対象です。

⑥



ユーザー紐づけ

設定した担当者とユーザー
を紐づける設定をします。

⑦



各アプリのセットアップ

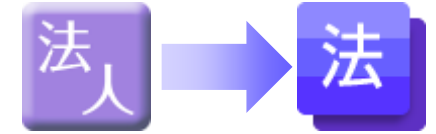
エプソンの会計シリーズ
の各アプリケーションを
セットアップします。

税務システムの
セットアップ前に、
Eiボードのバー
ジョンアップを
お済ませください



ダウンロード方法(手動ダウンロード)

8月に公開する税務申告システムは、設定により自動でダウンロードされますが、自動バージョンアップは行われません。インストールはお客様にて実施する必要があります。

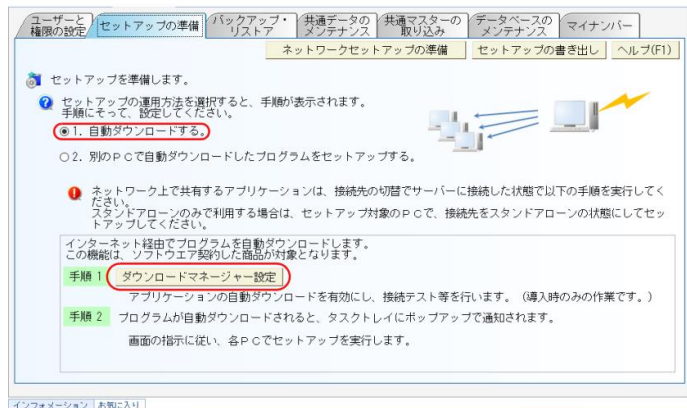


Eiボードをセキュリティ管理者で起動したら、ダウンロードマネージャーの設定を確認して、アプリケーションをダウンロードします。

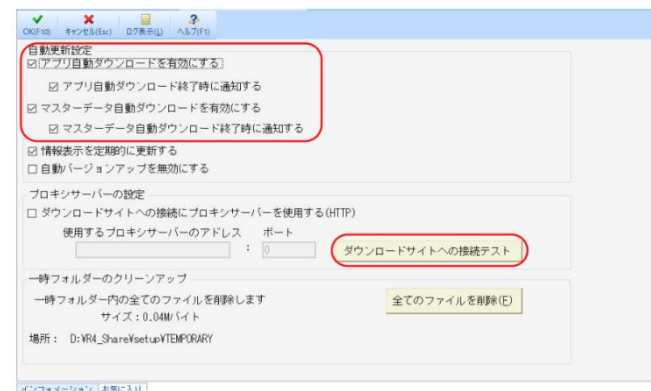
アプリケーションのダウンロードには、**手動でダウンロードする方法**と、**自動でダウンロードする方法**があります。

ダウンロード方法(手動ダウンロード)

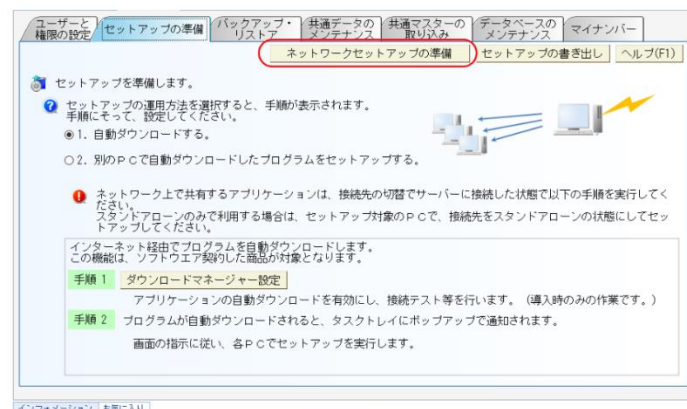
01 Eiボードを起動して、「管理メニュー」→「セットアップの準備」タブで「1. 自動ダウンロードする。」が選択されている状態で、「ダウンロードマネージャー設定をクリックします。



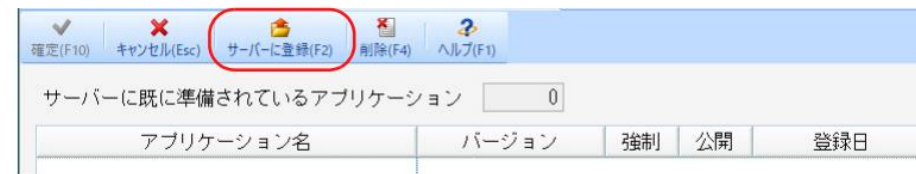
02 ダウンロードマネージャー設定画面が表示されます。「アプリ自動ダウンロードを有効にする」「マスターデータ自動ダウンロードを有効にする」にチェックが付いていることを確認して「ダウンロードサイトへの接続テスト」をクリックして「成功しました。」となることを確認してください。



03 ダウンロードマネージャーの設定が確認できたら、「セットアップの準備」タブの「ネットワークセットアップの準備」をクリックしてプログラムがダウンロードされていることを確認してください。※ダウンロードが完了するまでには時間がかかります。

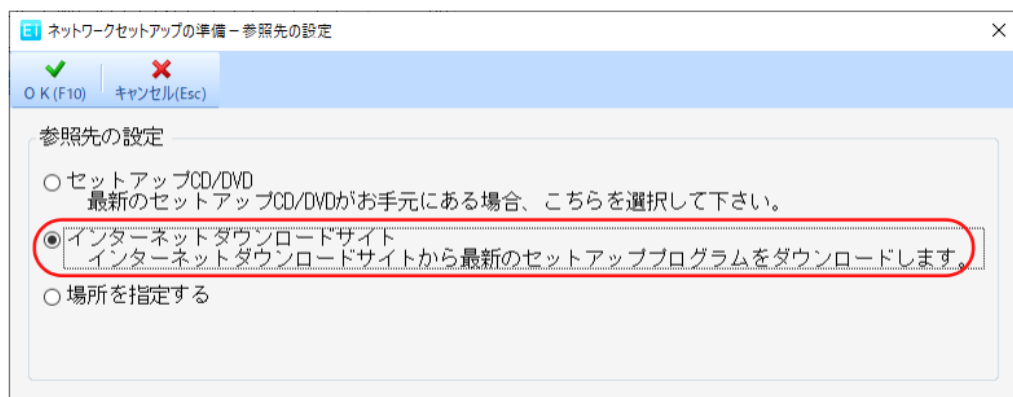


04 「ネットワークセットアップの準備」で、プログラムがダウンロードされていない場合は、「サーバーに登録」をクリックして手動でダウンロードすることができます。

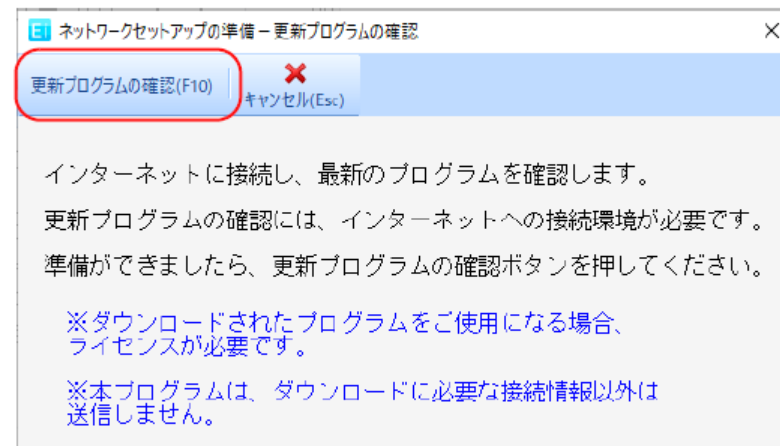


ダウンロード方法(手動ダウンロード)

05 ネットワークセットアップの準備・参照先の設定画面になります。「インターネットダウンロードサイト」を選択して、「OK」をクリックします。



06 更新プログラムの確認画面が表示されたら、「更新プログラムの確認」をクリックします。



07 アプリケーション一覧が表示されたら、必要なプログラムにチェックをして「サーバーに登録」をクリックします。「最新バージョンのみ表示」をクリックすると、各年度の最新バージョンに絞り込まれます。
※エプソンの税務申告をご利用になる場合は、最終行の「SQL Server」もダウンロードしてください。



08 ダウンロードが完了したら、「閉じる」で画面を閉じます。
ネットワークセットアップの準備画面でアプリケーションがダウンロードされていることが確認できます。

以上で導入処理は完了です。



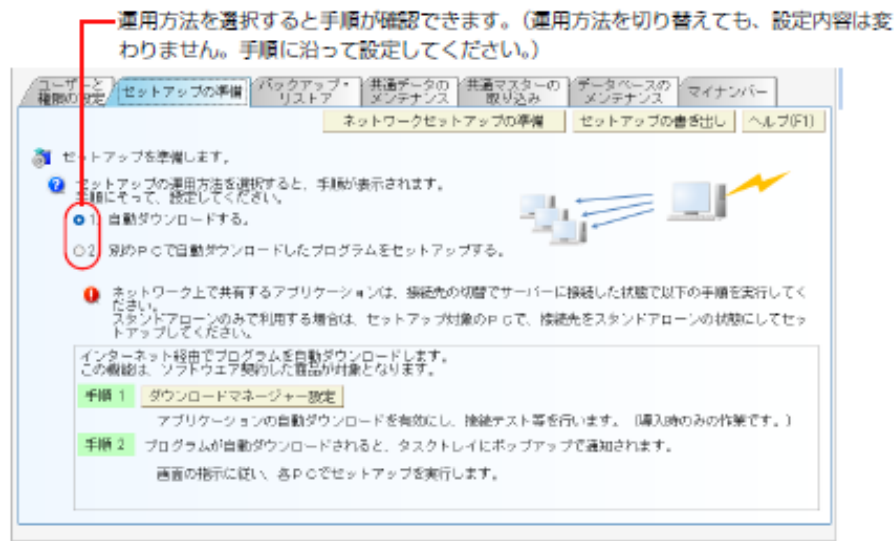
ダウンロード方法(自動ダウンロード)

「自動ダウンロードする」ときの新シリーズのプログラムは、会計ポータルで管理されている契約情報に基づき自動でダウンロードされます。

※エプソンの税務申告(エプソンの消費税・事務所管理除く)をご利用いただくために必要なデータベース管理システム「SQL Server 2022」も合わせてダウンロードされます。

セットアップに関する設定と確認

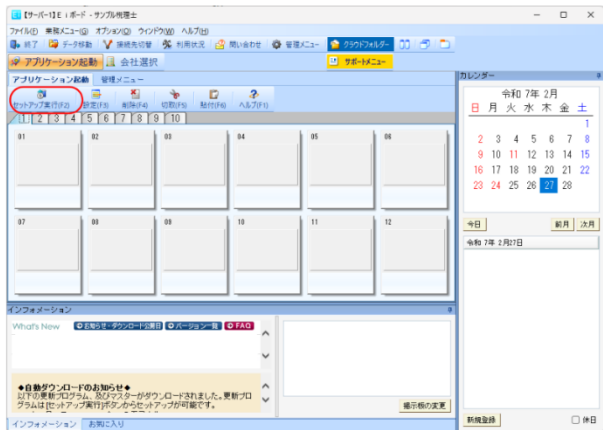
アプリケーションのセットアップに関する設定は、「管理メニュー」→「セットアップの準備」タブで運用方法を選択すると確認できます。



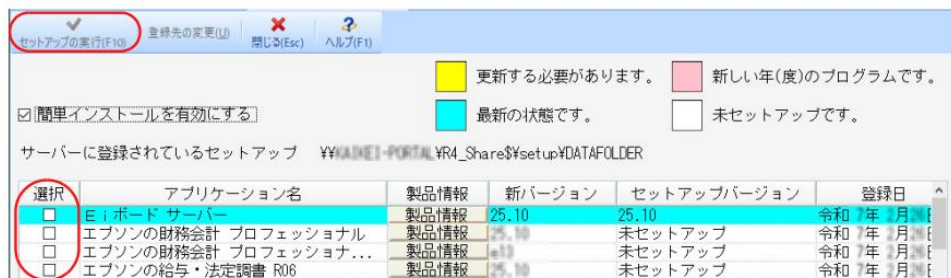
ダウンロード方法(自動ダウンロード)

クライアントPCでEiボードが起動したら、サーバーのダウンロードマネージャーに準備されたアプリケーションをセットアップします。

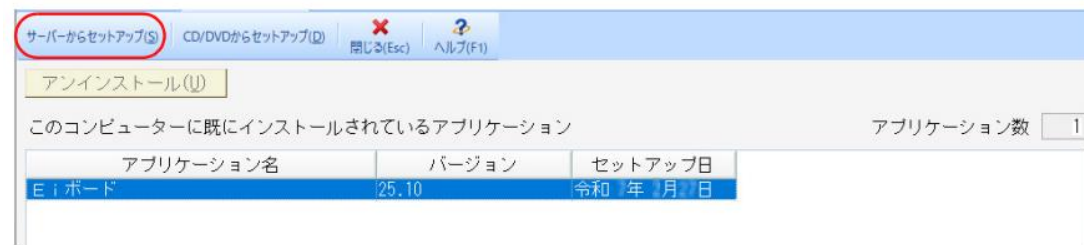
01 Eiボードの「セットアップ実行」をクリックします。
※サーバーセットアップ後、クライアントPCでセットアップを実行します。



03 サーバーに準備されているアプリケーションが表示されます。
セットアップするプログラムにチェックをして、「セットアップ実行」をクリックします。



02 既にインストールされているアプリケーションが表示されます。
「サーバーからセットアップ」をクリックします。



04 セットアップが完了すると、Eiボードのアプリケーション起動画面にアイコンが追加されます。
アイコンをクリックするとアプリケーションが起動します。



留意事項

サーバーPCにもアプリケーションをセットアップする必要があります。
利用するすべてのPCに「SQL」をセットアップしてください。
※「SQL」に自動的にチェックされます。



税務システム初回起動時の「データベース作成」画面

法人データを作成・使用するには、法人データを登録する「データベース」を事前に作成する必要があります。

※セットアップ後、初回起動時にデータベース作成画面が表示されます。

データベースの新規作成

この端末に当システムのデータを格納する場合は、データベースを新規作成してください。
データをネットワーク上の他のコンピュータで保持する場合は、作業を行う必要はありません。

データベースの名称

データベース名:

※データベースは、データにアクセスする際、接続先として指定することになります。
識別しやすい名称を付与するようにしてください。(DATABASE等)

データベースの格納場所

場所:

正式名:

データファイル:

ログファイル:

データベースに格納するデータの量により、データベースのサイズは100MB以上になる可能性があります。
ドライブの容量を確認し、空き容量の多いドライブを指定してください。

F1 ヘルプ Enter 確定 ESC キャンセル



メモ

作成したデータベースの中に、各データが保存されます。

1台のPCで使用する場合

システムを使用するPCで「データベース作成」を行います。

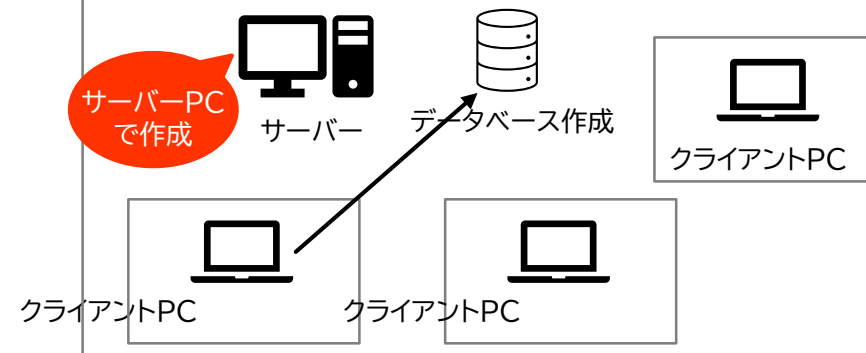


データベース作成

LAN環境で複数のPCでシステムを使用する場合

LAN環境で複数のPCでシステムを使用する場合は、サーバーPCで「データベースの作成」を行います。

※サーバーPCにもシステムのインストールが必要です。

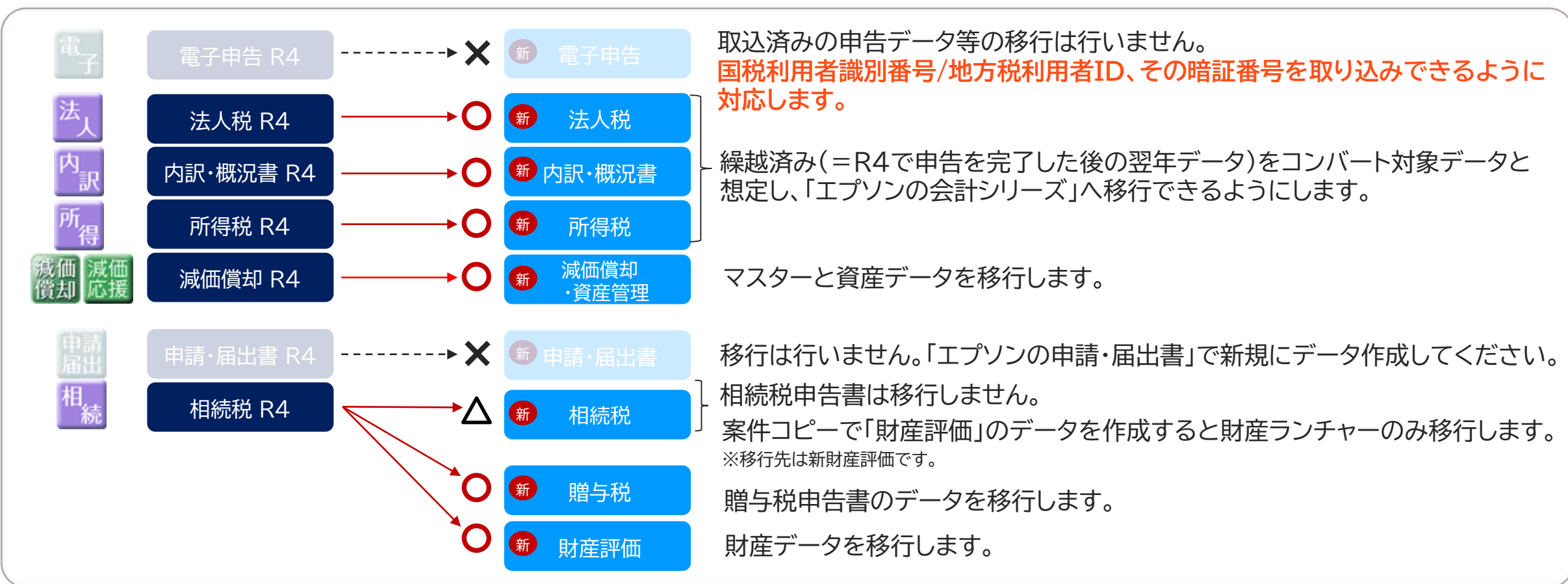


04

R4シリーズからのコンバート手順

「エプソンの会計シリーズ」へのデータ移行対象製品

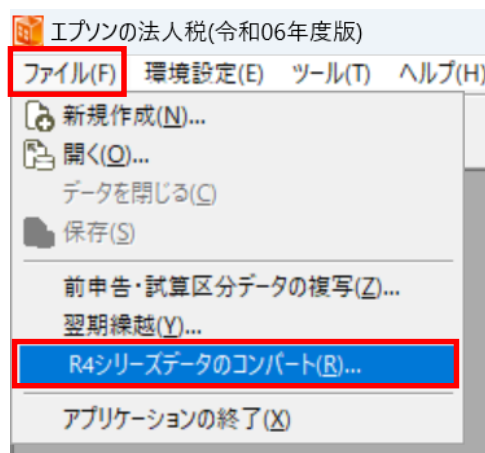
R4シリーズから「エプソンの会計シリーズ」へのデータコンバートメニューをご用意します。
ただし、電子申告 R4、申請・届出書 R4、相続税 R4(税目:相続税)は、データ移行対象外となります。



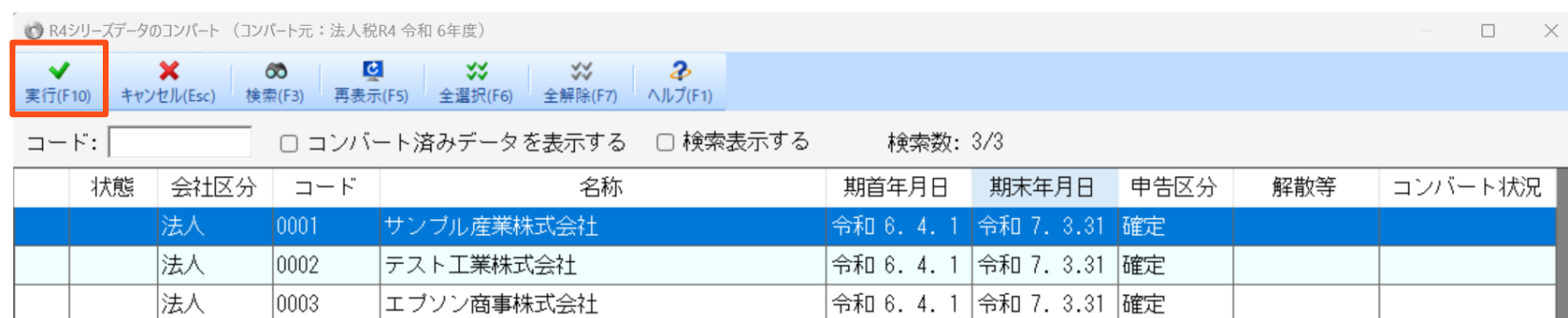
「エプソンの会計シリーズ」へのデータ移行方法

データ移行はお客様ご自身で実施できます。コンバートする会社の複数選択も可能です。

手順① 「エプソンの会計シリーズ」各システムからコンバートメニューを起動します。



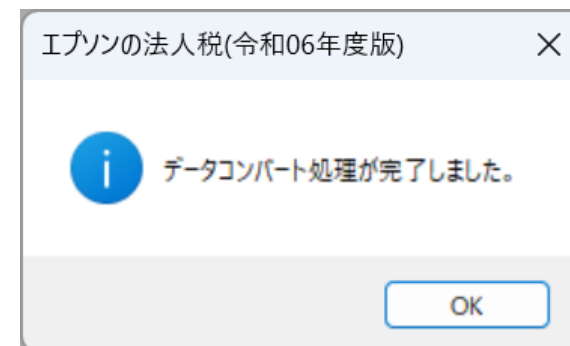
手順② データ選択画面から、移行したいデータを選択し実行します。



手順④ データ選択が可能になります。



手順③ コンバート完了のメッセージが表示



データコンバートのポイント

Point

①

「これから作成を始める申告データ」を新シリーズに移行し、処理します。

Point

②

繰越直後の「データ入力開始前」のタイミングでコンバートします。
申告済データや、決算確定済みデータを繰り越し、新シリーズにまとめて移行しておけば、いつでも新シリーズでの運用を開始できます。

Point

③

「エプソンの電子申告」を利用する場合は、「連携するすべてのシステムを新シリーズで処理」します。

例)法人税申告の場合

「エプソンの法人税」(別表連動時は「エプソンの減価償却」) + 「エプソンの内訳・概況書」と「エプソンの電子申告」の組み合わせで申告してください。R4は使用しません。

エラーによりコンバートできなかった場合は、ログファイルが作成されます。ログファイルにてエラー内容を確認し、修正の上、再度実行してください。詳細は、コンバーターマニュアルをご参照ください。



05

法人税 操作の変更点

※所得税等他のシステムの変更点につきましては、下記画面からご確認いただきますようお願いいたします。

Eiボード インフォメーション

インフォメーション

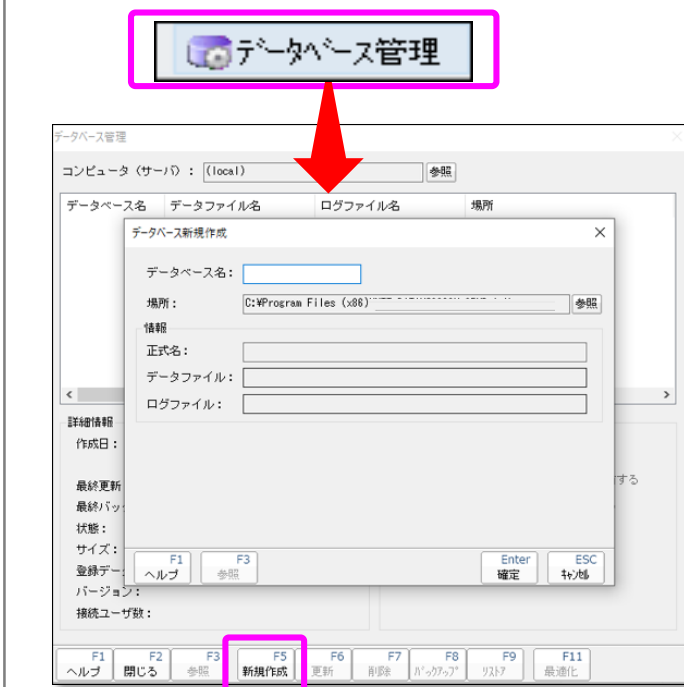
	重要	新シリーズ	事前設定が必須！新シリーズ「エプソンの会計シリーズ」を使い始めるためには・・・
	お知らせ	新シリーズ	エプソンの会計ポータルに関するよくあるお問い合わせ（事前設定編）
8/20	重要	お知らせ	Epson FU-char Systemシステムメンテナンスのお知らせ 【2025年8月28日(木) 22:30～23:30】
8/6	ダウンロード	共通マスター	共通マスター公開のお知らせ(2025/08/18版)
8/4	重要	新シリーズ	【事前にご確認ください】8月4日（月）公開！税務申告ソフトをご利用いただくにあたって
7/29	改版情報	E i ボード	E i ボード 障害対応版 Ver.25.11のリリース/Ver.25.10の対応内容

● 基本的な使い方（エプソンの税務シリーズ共通）

1 データベースの作成

はじめに「データベースの作成」が必要です。

「データベース管理」を選択し、「データベースの新規作成」を行ってください。

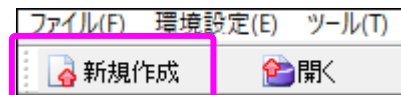


2 データ作成（R4コンバート等）

法人税R4のデータをコンバートできます。

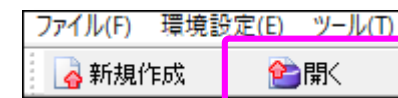


エプソンの法人税で新しいデータを作成する場合は「新規作成」を選択します。



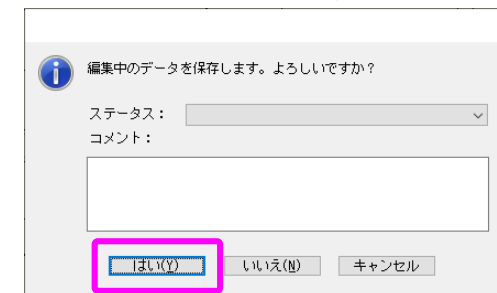
3 開く（データ選択画面）

「開く」を選択し、データ選択画面を表示します。



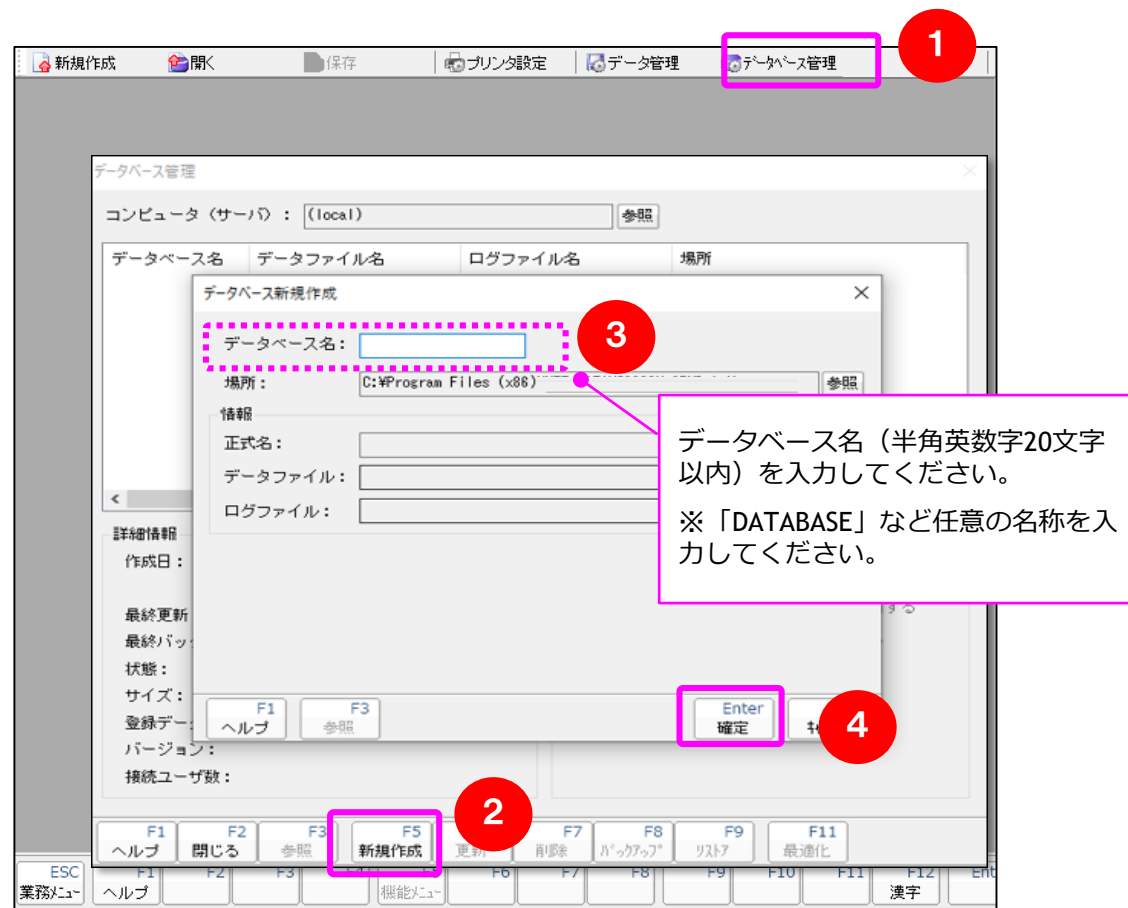
4 データの保存（終了時）

データ利用終了時は、保存が必要です



● データベースを登録する（使用前の事前準備）

法人データを作成・使用するには、法人データを登録する「データベース」を事前に作成する必要があります。



1 台のPCで使用する場合

システムを使用するPCで「データベース作成」を行います

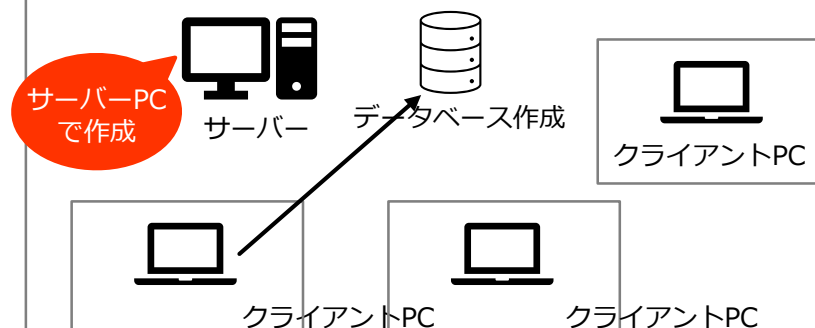


データベース作成

LAN環境で複数のPCでシステムを使用する場合

LAN環境で複数のPCでシステムを使用する場合は、**サーバーPC**で「データベースの作成」を行います

※サーバーPCにもシステムのインストールが必要です

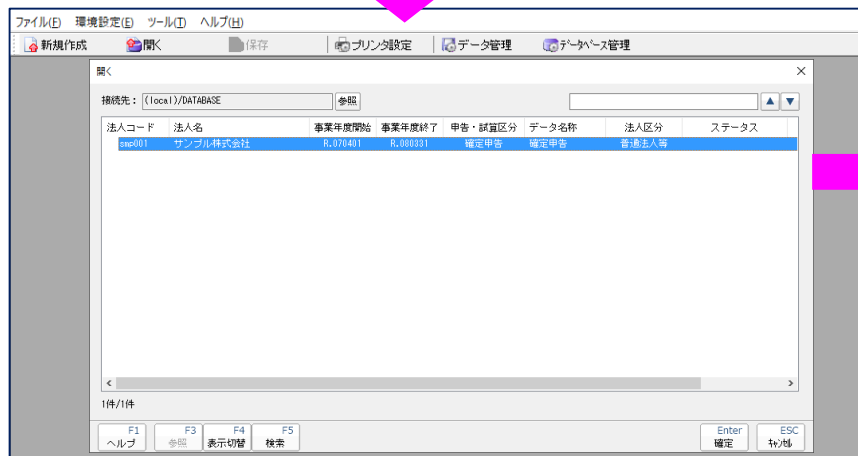


メモ

作成したデータベースの中に、各データが保存されます。

● 法人データを選択する

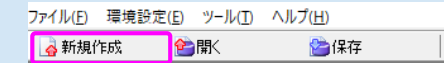
データ選択画面は、[開く]をクリックすると表示されます。
(メニューより[ファイル]→[開く]も可)



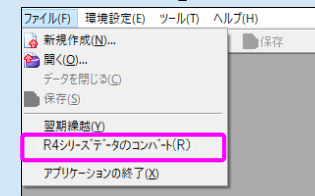
法人データ
選択

法人データは次の方法で作成します。

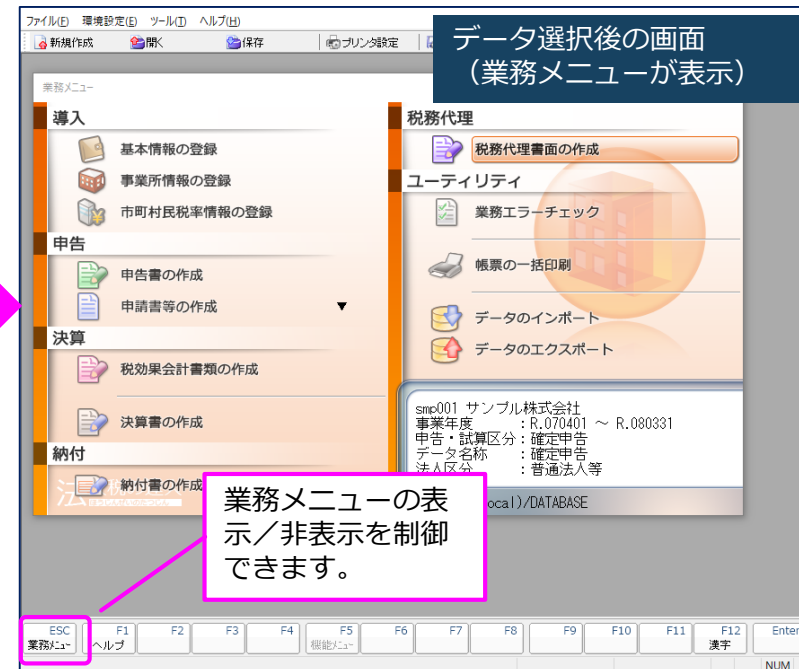
法人データを新規作成する
[新規作成]をクリック



R4のデータをコンバートする (コンバートプログラムを起動する)
メニューより[ファイル]→[R4シリーズのデータのコンバート]を選択



コンバートの詳細は、コンバーターマニュアル
をご覧ください。



● 法人データを保存する

データ入力後や選択した法人データを閉じる際に、データ（入力や設定した内容）を保存する処理を行う必要があります。
※データのバックアップ処理とは異なります。

法人税R4では、帳票入力画面で入力した内容は即更新されるため、データを保存する操作（入力や設定した内容を保存する）を特に意識することなく使用できました。

エプソンの法人税では、選択した法人データを閉じる前に**データを保存する操作を手動で行わないと、それまでに入力や設定した内容はクリアされる**ため、次回法人データ選択時には直近で保存したときの内容が表示されます。



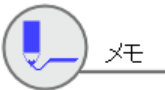
注意

現在処理中のデータを保存する

表示している入力画面の内容だけではなく、選択中のデータ自体を保存します。

選択中のデータを閉じるときにデータを保存する
プログラム終了時や選択中のデータを閉じる処理を実行したときに、次の確認画面が表示されます。

[はい]をクリックすると、
データが保存されます。



メモ

法人税R4ではプログラム終了時や選択中のデータを閉じる際に、データバックアップの確認画面が表示されましたが、エプソンの法人税では表示しません。
（同じタイミングで表示される確認画面でも、処理内容が異なります）

● データをバックアップする

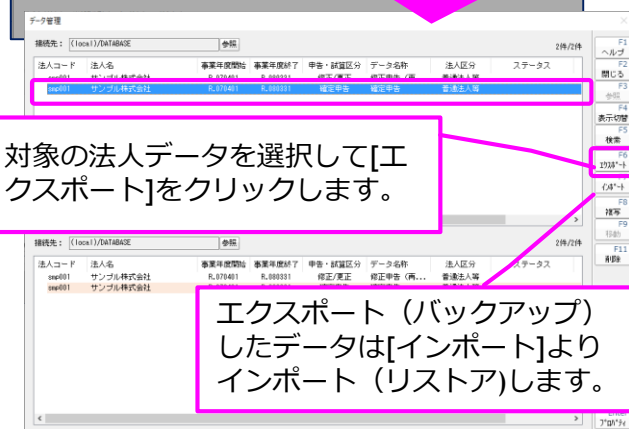
法人税R4ではプログラム終了時や選択中のデータを閉じる際に、データバックアップの確認画面が表示されましたが、エプソンの法人税では表示しません。
エプソンの法人税でもデータ入力後や選択した法人データを閉じる際に、データ保存の確認画面が表示されますが、選択データの入力や設定した内容を保存を促すための確認画面であり、データのバックアップ処理とは異なります。



注意

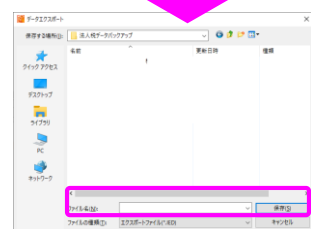
法人データをエクスポート（バックアップ）する

「データ管理」をクリック



注意

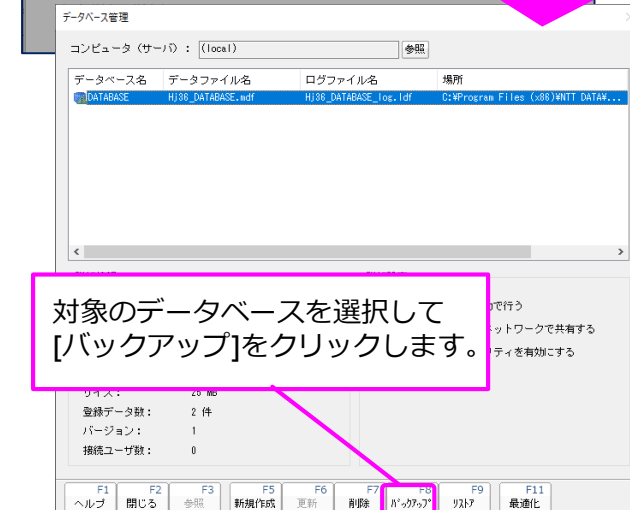
データベース更新が必要となるバージョンアップが行われた場合、それ以前にエクスポート（バックアップ）した法人データは、インポート（リストア）できなくなります。



法人税R4ではバックアップ時に保存するデータのファイル名を意識する必要はありませんでしたが、エプソンの法人税ではエクスポート時にファイル名を設定する必要があります。

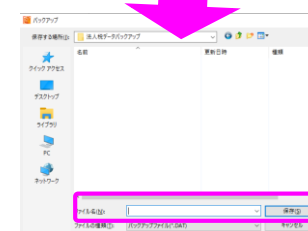
データベース単位でバックアップする

「データベース管理」をクリック



メモ

バックアップデータから、特定の法人データを指定してリストアすることはできません。リストアもデータベース単位になります。

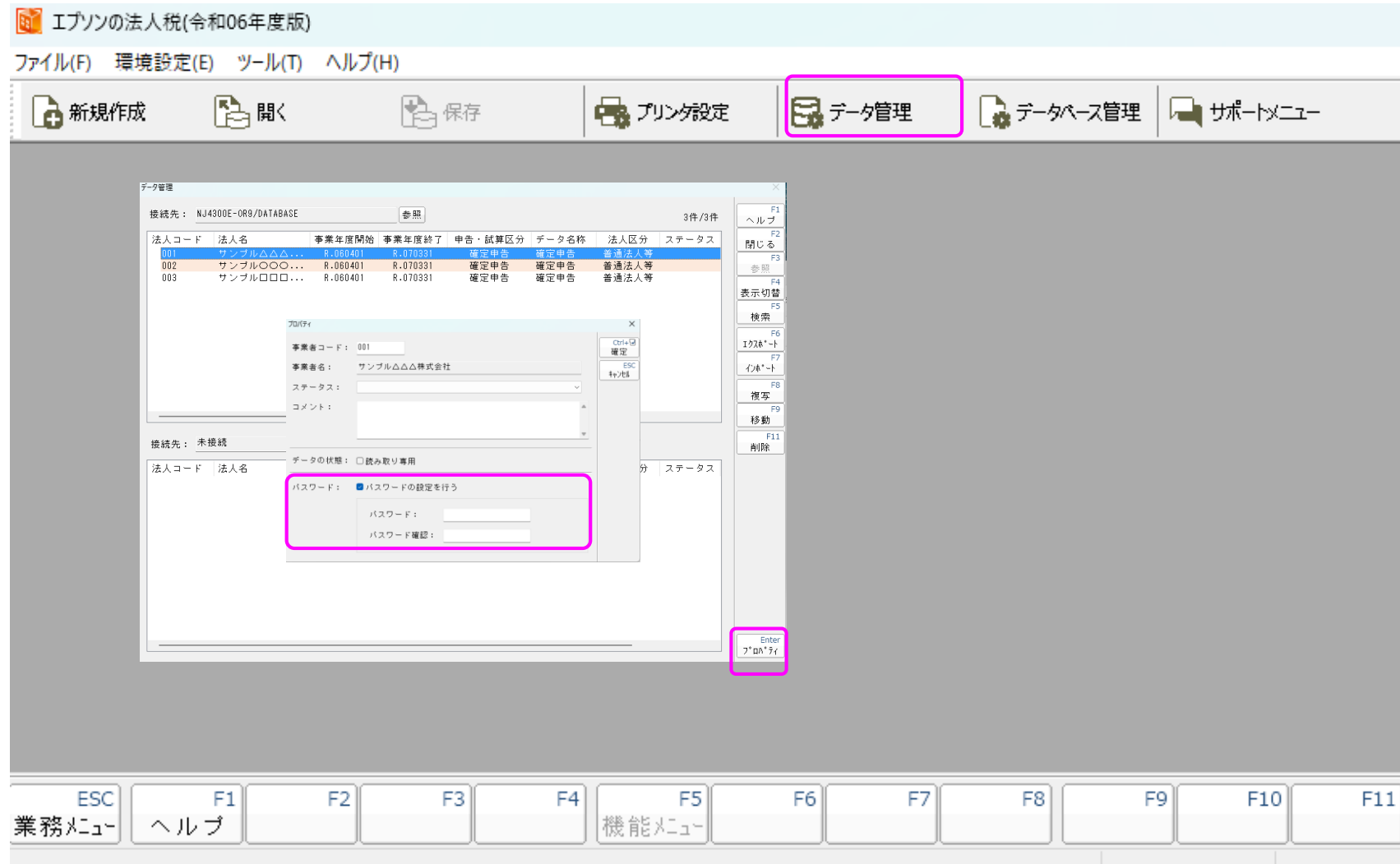


バックアップしたデータは[リストア]よりリストアします。

ファイル名を設定して保存します

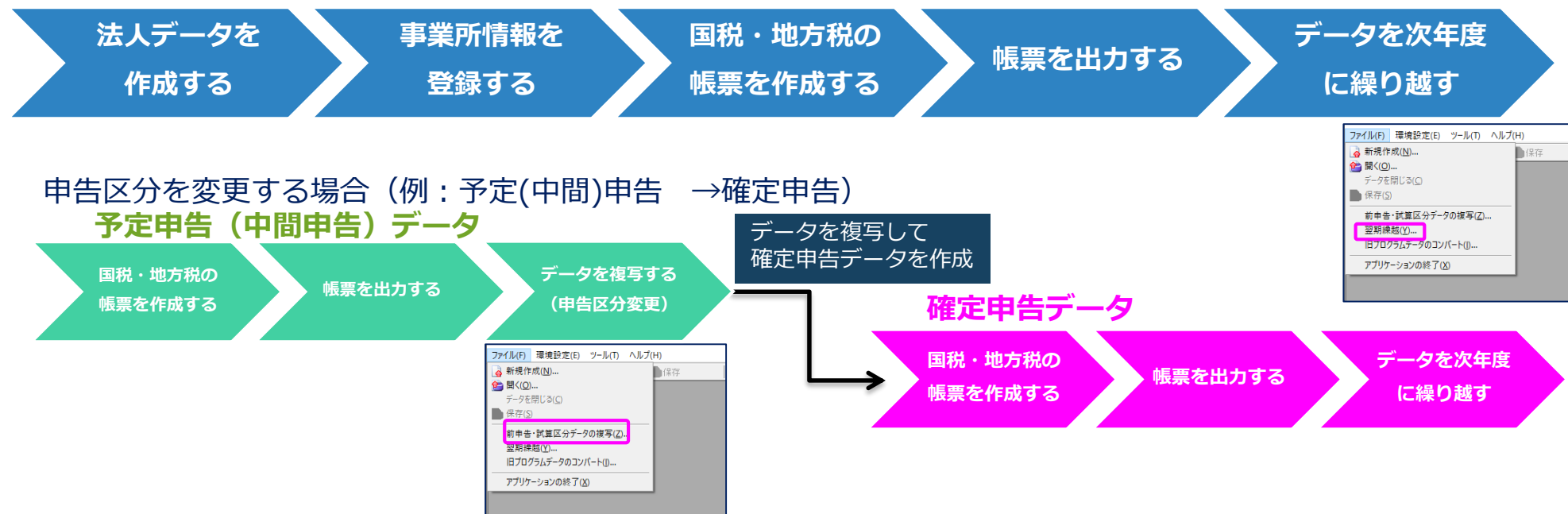
● データのパスワード設定

会社データにパスワードを設定することができます。メニューより[データ管理]→[プロパティ]を選択し、「パスワードを設定する」にチェックします。



● 基本的な作業の流れ

基本的な作業の流れは「法人税R4」と変わりません。



電子申告について

電子申告は「エプソンの電子申告」で申告データを取り込んで（自動連動）処理します。
エプソンの法人税側で電子申告ファイル出力する方法（手動連動）には対応していません。



「エプソンの財務会計」から「エプソンの電子申告」に決算書データを取り込むことはできません。
法人税申告書に添付する決算書データは、エプソンの財務会計からエプソンの法人税に取り込んでから、エプソンの電子申告で取り込む手順になります。

● 申告書を作成する 入力画面の基本操作 ①

設定画面（ダイアログボックス）を使って入力する項目は、ダブルクリックすると設定画面が起動します。

添付書類の種類

- ☐ 貸借対照表
- ☐ 損益計算書
- ☐ 株主（社員）資本等変動計算書又は損益金処分表
- ☐ 勘定科目内訳明細書
- ☐ 事業概況書
- ☐ 組織再編成に係る契約書等の写し
- ☐ 組織再編成に係る移転資産等の明細書

Ctrl+Enter 確定 Cancel

令和07年04月01日 事業年度分の法人税 確定申告書

令和08年03月31日 課税事業年度分の地方法人税 確定申告書

所得金額又は欠損金額 (別表四「52の①」)

法人税 (49)+(49)+(50) 額

法人税額の特別控除額 (別表六「6」「5」)

選択した帳票の入力画面はタブで表示されます。入力する帳票を切り替えて使用します。

入力切替

機能メニュー

漢字

補助入力

項目の色（初期値） ※配色の変更可能

入力項目	白色 (入力中は 水色) (ダイアログボックスを使って入力する項目は、選択時は水色 (2重枠表示))
自動計算項目（上書不可）	黄色
自動計算項目（上書可能）	緑色（自動計算状態） 赤色（上書入力状態） （上書入力中は、水色）

計算／上書の切り替えは、項目を選択してファンクションバーの[入力切替]をクリックします。

ファンクションバー（主なボタン） ※帳票によって表示されるボタンは異なります

業務メニュー	業務メニューを表示します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。
閉じる	帳票入力画面を全て（タブ表示分含む）閉じます。
入力切替	自動計算項目（上書可能）にカーソルがあるときに有効になります。該当項目の状態（計算／上書）を切り替えます。
機能メニュー	印刷、拡大／縮小等の変更ができます。
漢字	カーソルがある項目の日本語入力モードを切り替えます。
補助入力	設定画面（ダイアログボックス）を使って入力する項目にカーソルがあるときに有効になります。設定画面が起動します。

● 申告書を作成する 入力画面の基本操作 ②

明細行(列)を挿入／削除／移動する

明細を作成する帳票での操作方法です。

ボタン	説明
挿入	挿入する行または列を選択してクリックします。
削除	削除する行または列を選択してクリックします。
←左へ	左へする行または列を選択してクリックします。
→右へ	右へする行または列を選択してクリックします。

ページを追加／削除する

ページ追加ができる帳票での操作方法です。

ボタン	説明
ページ追加	新しいページを追加します。
ページ削除	 ポイント 追加したページの入力項目をすべて削除すると、ページを切り替えた時に自動的に削除されます。 [ページ削除]ボタンが表示される帳票は、クリックすると追加ページがある場合、現在表示しているページを削除します。

ページを切り替える

[前ページ][次ページ]で表示するページに移動します。
ページを選択して表示する場合は、 をクリックするとページ切替画面が表示されます。

表示するページを指定し[確定]をクリックします

● 申告書を作成する 地方税帳票の基本操作 ①

都道府県や市町村を切り替える

第六号様式や第二十号様式など都道府県や市町村を切り替えて作成する帳票の操作方法です。

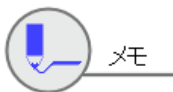
第六号様式（都道府県のケース）を例に説明します。

[前都道府県][次自都道府県]で表示する都道府県に移動します。都道府県を選択して表示する場合は、をクリックすると都道府県切替画面が表示されます。

表示する都道府県を指定し[確定]をクリックします

共通情報を入力する

所得金額や損金算入所得税額など、地方税の帳票で共通して使用する情報を入力します。



法人税R4の地方税共通情報([地方税]→[地方税共通情報])に相当する設定です。

● 申告書を作成する 地方税帳票の基本操作 ②

各都道府県や市町村のデータを一括で入力する

第六号様式や第二十号様式などで各都道府県や市町村を表形式で一括で入力する場合の操作方法です（法人税R4でも同様の機能あり）。

第六号様式（都道府県）を例に説明します。

【一括入力画面】

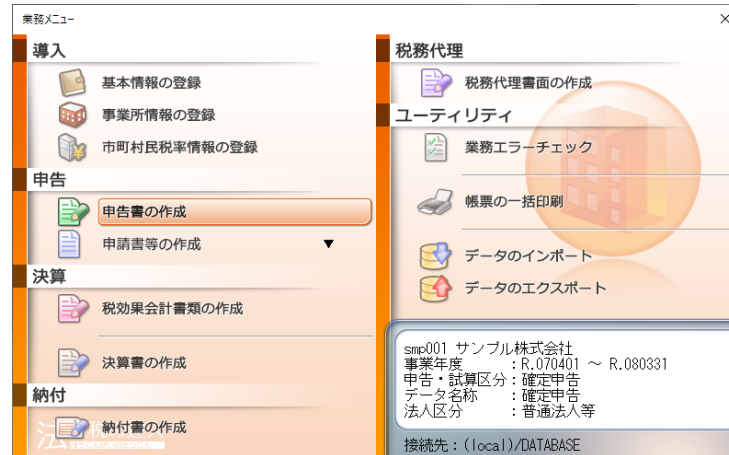
市町村民税率の自動設定

法人税R4では各市町村の法人税割の税率や均等割額は、第二十号様式等で入力する必要がありましたが、エプソンの法人税では自動で設定されます（上書変更可）。

課税標準となる法人税額及びその法人税割額 ①+②-③+④	⑤	22,544,000	100%	22,544,000
2以上の市町村に事務所又は事業所を有する法人における課税標準となる法人税額及びその法人税割額 (⑤×⑥)	⑥	62,620,000	6.000%	3,757,200
均等割額	⑦	12月	130,000円×⑧	13,000,000
既に納付の確定した当期分の均等割額	⑨			0
この申告により納付すべき均等割額 ⑦-⑨	⑩			13,000,000

事業所が登録されている市町村の法人割や均等割の設定は「市町村民税率情報の登録」で確認できます。

● その他帳票を作成する

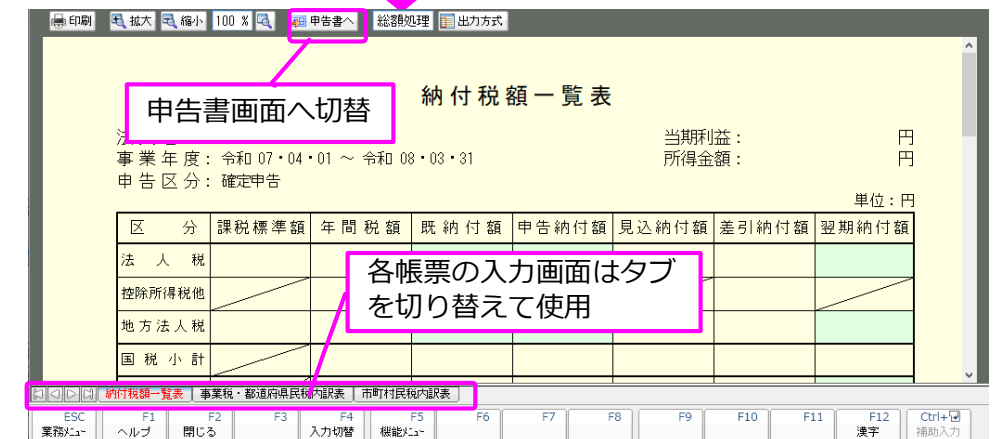
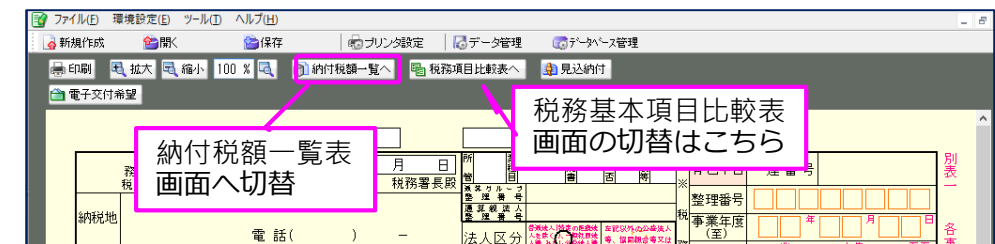


申請書等の作成	還付請求書や更正の請求書等を作成します。 「繰戻しによる還付請求書の作成」を選択したときは、「作成帳票の選択画面」が表示されます。作成する帳票を選択して[確定]をクリックします。
税効果会計書類の作成	税効果会計を行う場合の書類を作成します
決算書の作成	電子申告で必要となる決算書の情報を登録します。
納付書の作成	納付書（国税・地方税）を作成します
税務代理書面を作成する	税務代理書面を作成します。

管理帳票を作成する

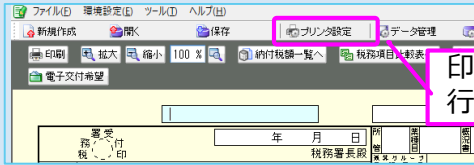
納付税額一覧表、事業税・都道府県民税内訳表、市町村民税内訳表別表一や第六号様式、第二十号様式の入力画面から表示します。
 税務基本項目比較表
 別表一や別表五(一) (二)の入力画面から表示します。

【別表一の入力画面】



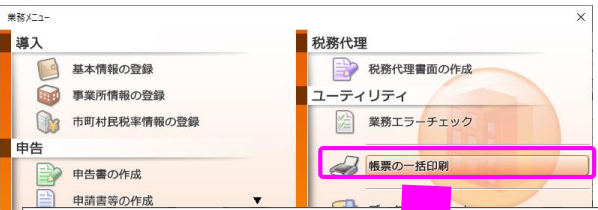
● 帳票を印刷する

- ・「エプソンの法人税」では、印刷プレビュー画面は表示しません。印刷を実行すると直接出力します。
- ・プリンターを変更する場合は、「プリンター設定」で使用するプリンターを選択してから印刷を実行してください。



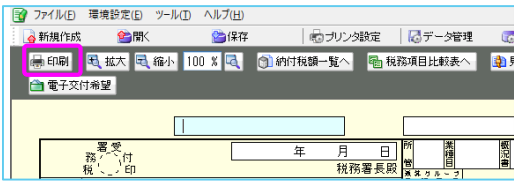
印刷調整等もここから行います。

複数帳票を一括で印刷する



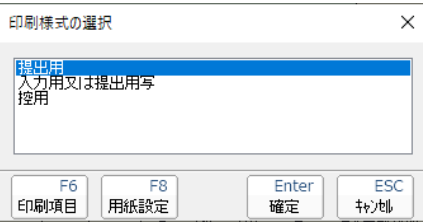
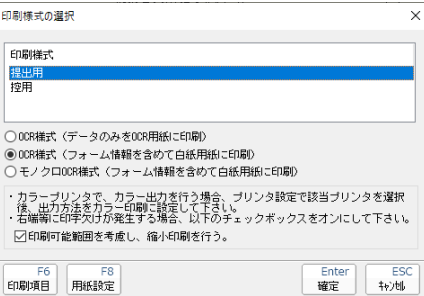
プリンタ、ファイル (PDF形式)を選択

作成中の帳票を印刷する



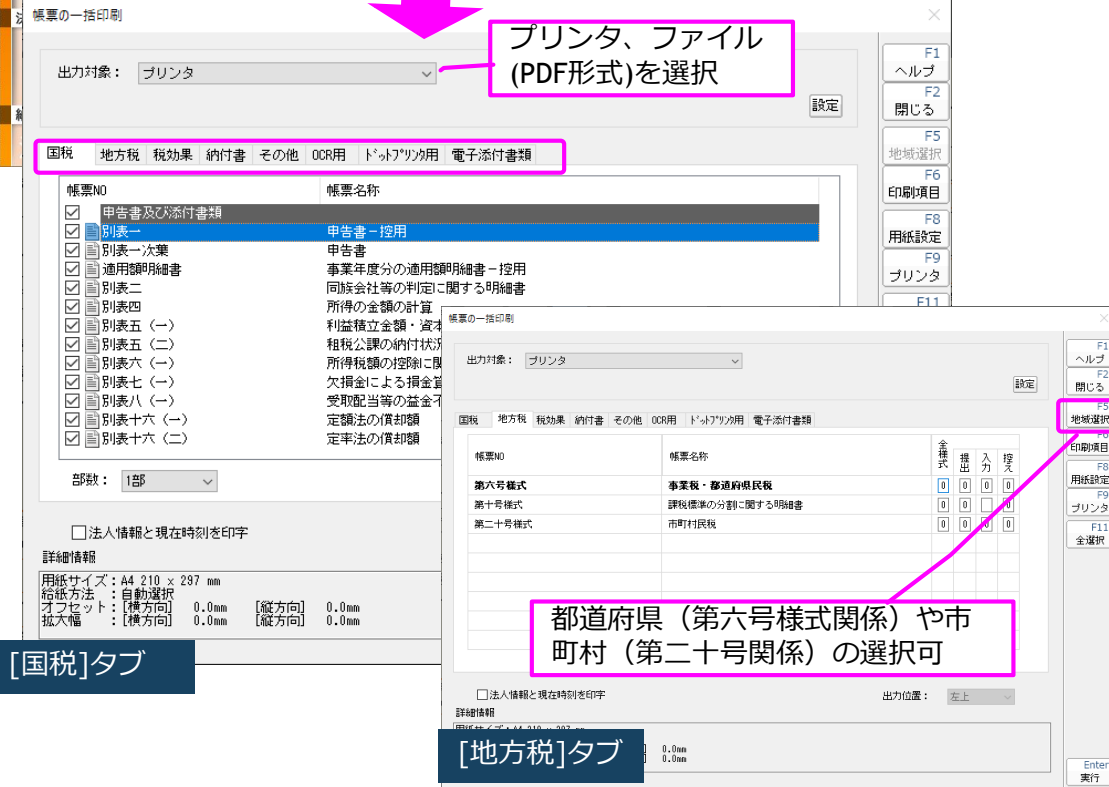
各帳票の入力画面の[印刷]をクリックします。

帳票によって印刷前に印刷様式の選択画面等が表示されます。



第六号様式

別表一、適用額明細書等



都道府県 (第六号様式関係) や市町村 (第二十号関係) の選択可

[国税]タブ

[地方税]タブ

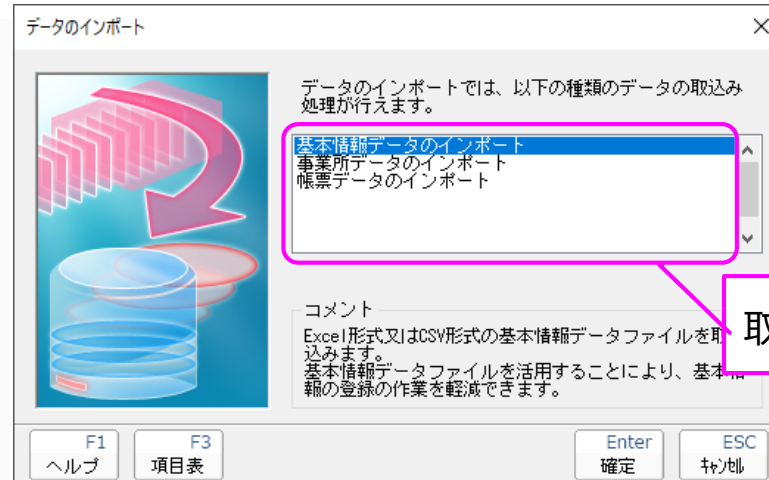
06

システム間データ連携

システム間データ連携

税務申告ソフト※への連動は、各システムの「データのインポート」メニューから取込みを実行します。
※エプソンの電子申告除く

例) エプソンの法人税

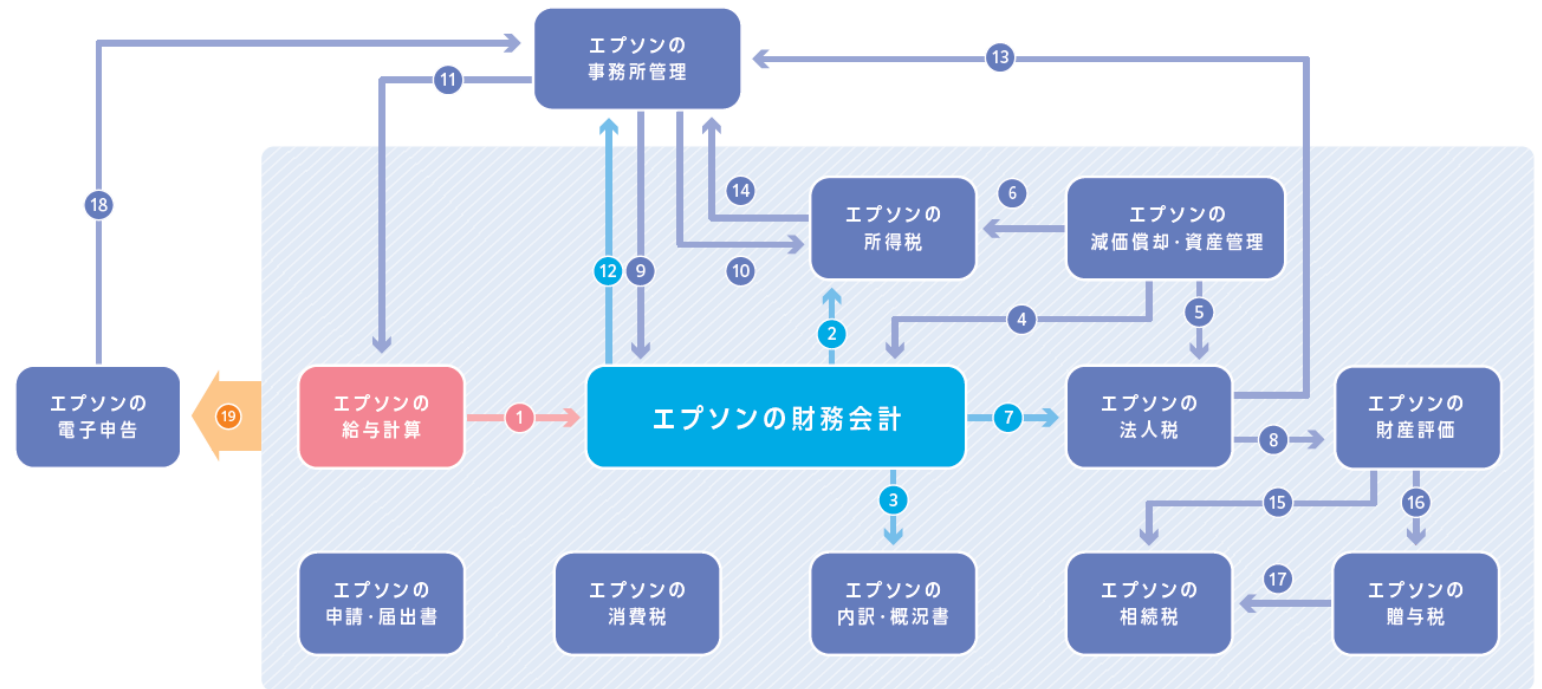


取込を行う処理を選択します。

システム間データ連携

「エプソンの会計シリーズ」で連携できるシステムは下記の通りです。
このうち、以下の連携についてご説明します。

- ✓ 財務会計→所得税(②)
- ✓ 減価償却→所得税(⑥)
- ✓ 財務会計(決算書)→法人税(⑦)
- ✓ 減価償却→法人税(⑤)
- ✓ 財務会計→内訳・概況書(③)

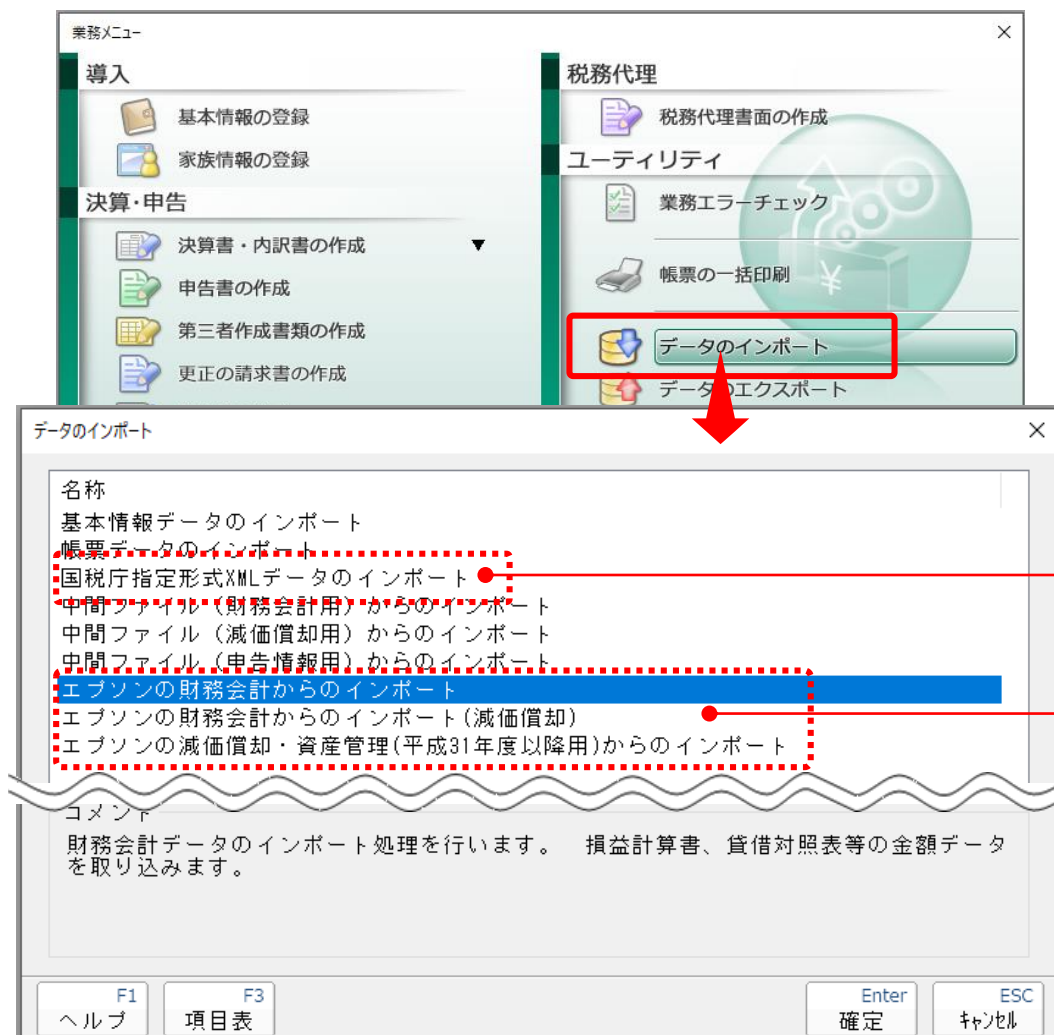


▲データ連携図

●データ選択後の基本操作

②⑥ データのインポート（財務連動・減価償却連動等）

- 財務連動・減価償却連動、寄附金控除証明書取込は「データのインポート」から行います。



財務連動・減価償却連動

青色申告決算書・収支内訳書への連動（財務・減価償却）はここから行います。

エプソンの財務会計からのインポート
 エプソンの財務会計からのインポート（減価償却）
 エプソンの減価償却・資産管理（平成31年度以降用）からのインポート

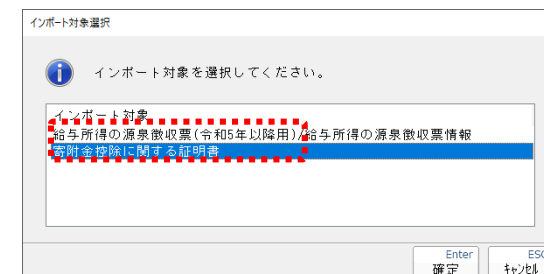
財務会計からのインポートは、減価償却分と減価償却以外分に分かれます。
 両方取り込みを行う場合は順番に選択してください。



寄附金控除に関する証明書（ふるさと納税）の取り込み

各種ふるさと納税サイトよりダウンロードした「寄附金控除に関する証明書（XMLデータ）」の取り込みも、ここから行います。

▼国税庁指定形式XMLデータのインポートを選択後の画面



7 [決算] タブ 法人税連動用 科目割付

- エプソンの法人税への連動を経由してエプソンの電子申告への連動するために決算報告書の科目割付を行ってください。（法人データのみ）

「法人税連動用科目」の科目名は、エプソンの法人税連動上の科目の目安です。システムの標準科目の場合、基本的に科目の割付は行われています。お客様が追加している合計科目について、科目割付をしてください。科目割付後は、[割付チェックリスト]をクリックして正しい割り付けが行われていることを確認してください。割付が完了したら、[\[連動\] タブ-他システム連携 \[法人税連動データ作成\]](#)で連動用ファイルを出力することができます。（エプソンの法人税から自動連動も可能です。）

決算書科目リスト			法人税連動用科目		割付科目
コード	科目名	残高(3月31日時点)			
9883	流動資産	18,335,601,270	現金及び預金		9055 現金及び預金
9055	現金及び預金	5,719,123,506	現金		
9881	受取手形	19,845,545	小口現金		
9070	売掛金	12,597,382,035	小切手		
132	有価証券		預金		
133	当座資産		当座預金		
640	当座資産2		郵便振替貯金		
641	当座資産3		普通預金		
140	商品	-12,027,600	郵便貯金		
141	製品	-24,640,936	通知預金		
142	原材料	3,136,928	納税準備預金		
143	半製品・仕掛品	5,421,522	貯蓄預金		
9135	未成工事支出金		その他の流動性預金		
144	貯蔵品		定期預金		
145	補助材料		定期貯金		
645	棚卸資産		積立預金		
646	棚卸資産2		別段預金		
647	棚卸資産3		特定金銭信託		

決算書科目リスト

- 科目出力順で選択した決算書出力順が表示されます。出力条件で[出力しない]としている科目以外は全て表示されます。科目を選択すると右画面で法人税連動用科目に割付されている科目を確認することができます。

法人税連動用科目

- 法人税連動用科目と、その科目に割りついている割付科目が表示されます。

割付設定

- 追加した合計科目を選択し、法人税連動用科目で割付したい科目を選択後[割付設定]をクリックして[確定]すると科目を割付することができます。

割付チェックリスト

- 決算書科目リストと法人税連動用科目との割付チェックが行われます。割付にエラーがある場合は、チェックリストが表示されます。



財務システムの標準科目で運用していても、一部の科目についてはエプソンの法人税連動後に見直しが必要です。詳細は[こちら](#)をご参照ください。

⑤⑦ データを連動する 他のエプソン会計シリーズからのデータ取込 ①

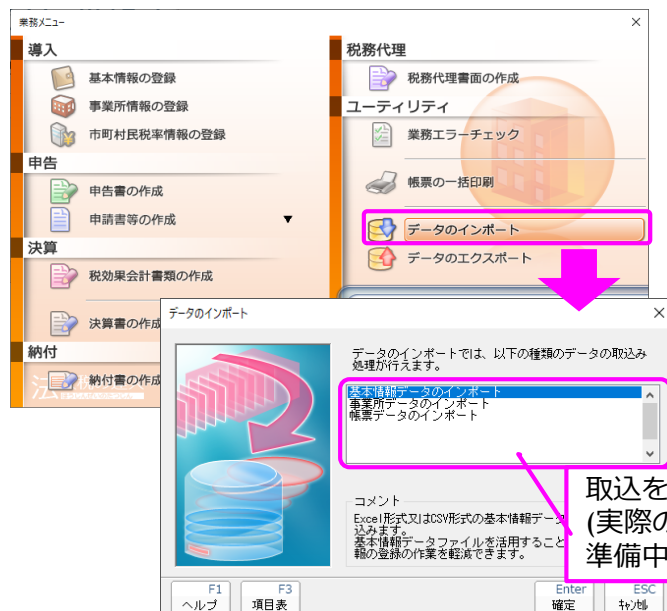
他のエプソン会計シリーズから次のデータを取り込むことができます。

エプソンの減価償却・資産管理からの連動
別表十六のデータを取り込みます。

エプソンの財務会計からの連動
電子申告を行う場合に必要となる決算書のデータを取り込みます。
また、申告書のデータも取り込むことができます。

連動処理の実行

業務メニューの「データのインポート」より実行します。



取込を行う処理を選択します。
(実際の選択リストの画面は
準備中)

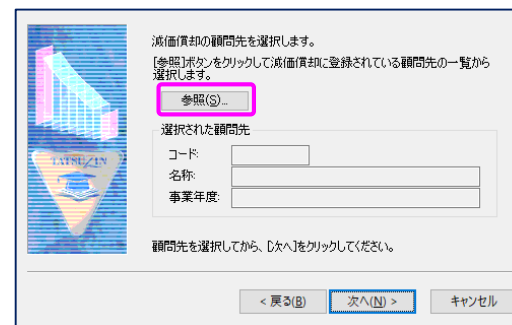
エプソンの減価償却・資産管理からの連動

取込方法

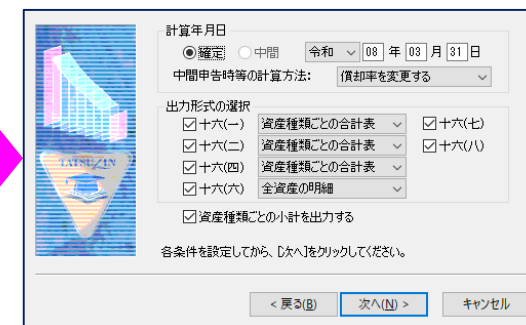
エプソンの減価償却・資産管理での処理
特にありません。

エプソンの法人税での処理

業務メニューの「データのインポート」より実行します。



[参照]より取り込むデータを選
択します。



取り込む帳票と出力条件等を
指定します。

7 データを連動する 他のエプソン会計シリーズからのデータ取込 ②

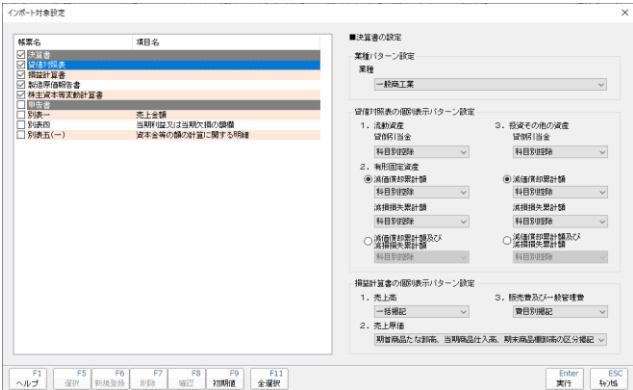
エプソンの財務会計からの連動



本書では自動連動について説明します。
エプソンの財務会計から出力したファイルを取り込むこともできます（手動連動）。

取込方法
エプソンの財務会計での処理
特にありません。

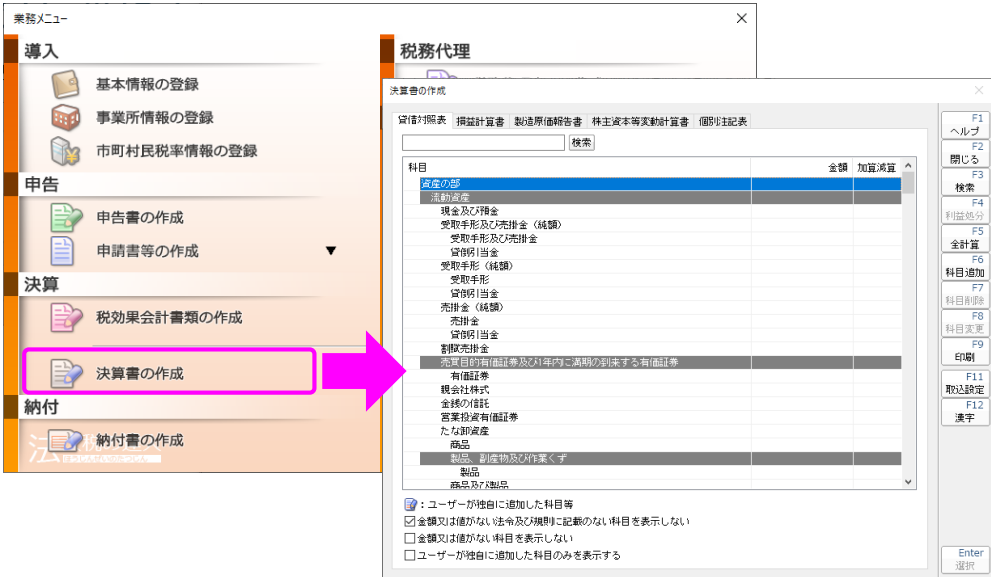
エプソンの法人税での処理
業務メニューの「データのインポート」より実行します。



取り込むデータを選択
します。

取り込む帳票（決算書、申告書）
と設定条件等を指定します。

取り込まれるデータ（決算書）
業務メニューの「決算書の作成」の帳票データとして取り込まれます。



「エプソンの財務会計」から直接「エプソンの電子申告」に決算書データを取り込むことはできません。
法人税申告書に添付する決算書データは、エプソンの法人税に取り込んでから「エプソンの電子申告」に取り込む手順になります。



③ [連動] タブ 内訳概況連動データ作成

- エプソンの内訳・概況書で取り込むことができる連携用データを作成します。

他システム連携 内訳概況連動データ作成 (法人データのみ)

エプソンの内訳・概況書

業務メニュー 内訳概況連動データ作成

実行(F10) キャンセル(Esc) 初期値(F5) プレビュー(F11) ヘルプ(F1)

処理年月: 2024/03/31
※ 期末月は13(44)です。

出力フォルダ名: C:\Users\Y\Documents\EPSONR4\FREND\Zaimuuchiwake 参照

内訳書(1) 法人概況(主要科目P/L)(2) 法人概況(主要科目B/S)(3) 法人概況(月別売上)(4)

以下の科目は、補助科目・摘要マスター(固定語句)の両方で残高管理されています。
どちらの明細を連動するか選択してください。

コード	科目名	補助科目/摘要
131	売掛金	●補助科目 ○摘要
201	買掛金	●補助科目 ○摘要
810	商品売上高	●補助科目 ○摘要

【内訳書】タブ
補助科目・摘要マスター(固定語句)の両方で残高管理差されている科目が一覧表示されます。どちらの明細を連動するかを選択してください。

期末年月日が平成30年3月31日以前のデータは内訳概況連動データ作成でファイル出力できません。
エプソンの内訳・概況書で自動連動もできません。

業務メニュー 内訳概況連動データ作成

実行(F10) キャンセル(Esc) 初期値(F5) プレビュー(F11) ヘルプ(F1)

出力フォルダ名: C:\Users\Y\Documents\EPSONR4\FREND\Zaimuuchiwake 参照

内訳書(1) 法人概況(主要科目P/L)(2) 法人概況(主要科目B/S)(3) 法人概況(月別売上)(4)

法人事業概況説明書項目名	金額	コード	科目名	金額
売上(収入)高	3,385,326,058	810	商品売上高	1,403,823,159
兼業売上(収入)高		811	製品売上高	1,963,389,299
売上(収入)原価	1,149,268,078	812	売上高3	0
売上原価: 期首棚卸高	13,587,968	813	売上高4	0
売上原価: 原材料費(仕入高)	355,690,000	815	売上値引戻	-1,286,400
売上原価: 労務費	325,011,532	816	売上返品戻	0
売上原価: 外注費	0			
売上原価: 期末棚卸高	6,856,600			
売上原価: 減価償却費	6,825,887			
売上原価: 地代家賃	0			
売上(収入)総利益	2,216,857,980			
販管費: 役員報酬	28,041,200			
販管費: 従業員給料	158,821,450			
販管費: 交際費	12,629,173			
販管費: 減価償却費	7,769,915			
販管費: 地代家賃	69,300,000			
営業利益	1,695,049,769			

- 【法人概況(主科目P/L)】 【法人概況(主科目B/S)】
【法人概況(月別売上)】 タブ
法人事業概況説明書に割り当てられる勘定科目を指定することができます。
- コードをクリアすると割り当てられた科目行を削除することができます。
 - 空白行でコードを指定(又は参照窓から科目を選択)すると科目を追加で割り当てることができます。
 - 合計科目の割り当ては変更できません。
 - 【初期値】で割り当てを初期設定に戻すことができます。

業務メニュー 内訳概況連動データ作成

実行(F10) キャンセル(Esc) 初期値(F5) プレビュー(F11) ヘルプ(F1)

※ 期末月は13(44)です。

出力フォルダ名: C:\Users\Y\Documents\EPSONR4\FREND\Zaimuuchiwake 参照

内訳書(1) 法人概況(主要科目P/L)(2) 法人概況(主要科目B/S)(3) 法人概況(月別売上)(4)

法人事業概況説明書項目名	金額	コード	科目名	金額
資産の部合計	18,392,816,505	9300	資産の部	18,392,816,505
資産: 現金預金	5,719,123,506			
資産: 受取手形	19,845,545			
資産: 売掛金	12,597,382,035			
資産: 棚卸資産(未成工事支出金)	-28,110,086			
資産: 貸付金	0			
資産: 建物	0			
資産: 機械装置	149,703,828			
資産: 車両・船舶	0			
資産: 土地	0			
負債の部合計	9,194,038,235			
負債: 支払手形	177,152,515			
負債: 買掛金	1,532,313,990			
負債: 個人借入金	95,700,000			
負債: その他借入金	9,198,778,270			
純資産の部合計	9,198,778,270			

業務メニュー 内訳概況連動データ作成

実行(F10) キャンセル(Esc) 初期値(F5) プレビュー(F11) ヘルプ(F1)

※ 期末月は13(44)です。

出力フォルダ名: C:\Users\Y\Documents\EPSONR4\FREND\Zaimuuchiwake 参照

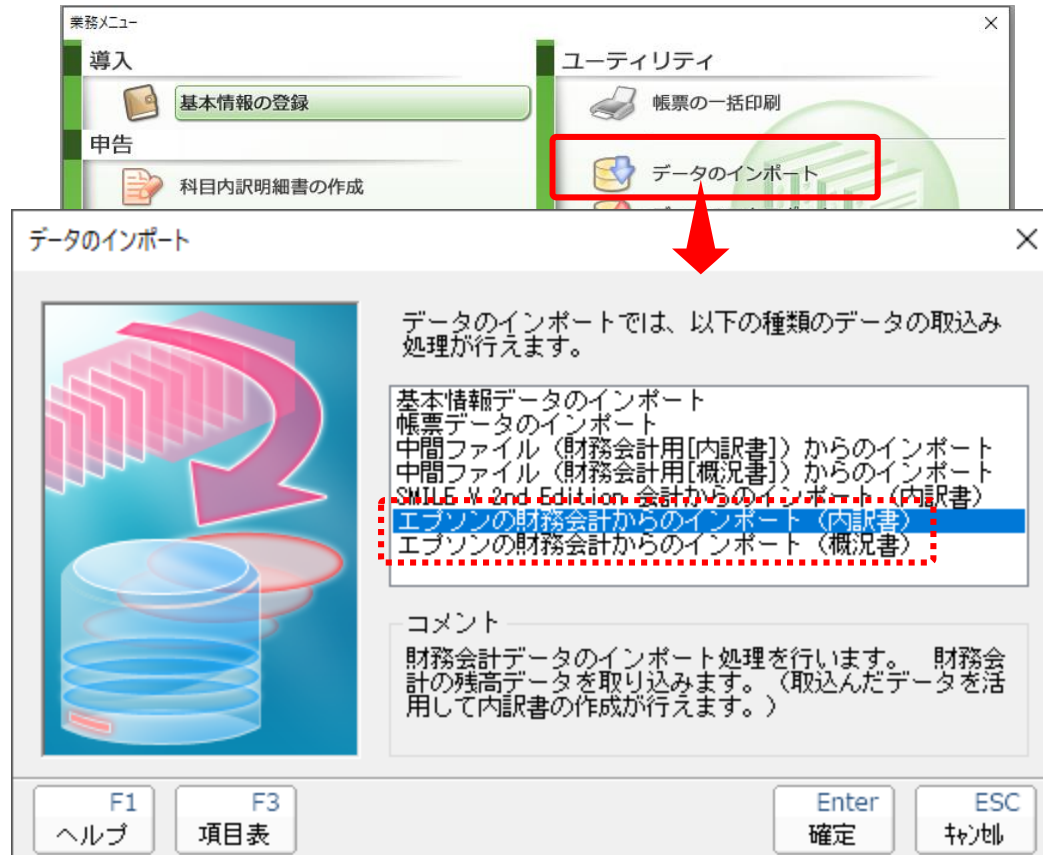
内訳書(1) 法人概況(主要科目P/L)(2) 法人概況(主要科目B/S)(3) 法人概況(月別売上)(4)

法人事業概況説明書項目名	金額	コード	科目名
売上(収入)金額(1)		810	商品売上高
売上(収入)金額(2)		811	製品売上高
仕入金額(1)		812	売上高3
仕入金額(2)		813	売上高4
外注費		815	売上値引戻
人件費		816	売上返品戻
源泉徴収税額			
任意項目			

●基本操作（データ選択後）の変更内容

③ 財務連動（データのインポート）

- 財務連動は「データのインポート」から行います。



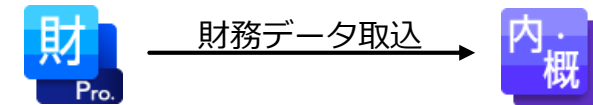
memo 財務連動とは

財務会計システムの科目残高・入力仕訳から、各科目残高を取り込み、内訳・概況書システムの各残高に反映することができます。

財務連動（財務取込～各帳票への反映） 全体の流れ

1. 財務会計からのインポート（左図）

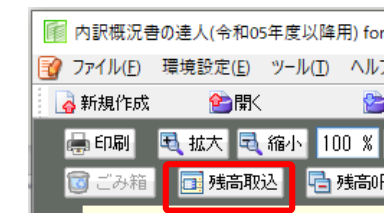
左図のとおり、まずは財務のデータの情報を内訳概況のデータに読み込ませます。



この時点では、まだ各帳票（内訳書や概況書）に財務の残高は未反映です。

2. 各帳票（内訳書や概況書）に残高取込（次ページ）

内訳書や概況書で残高取込処理を行います。



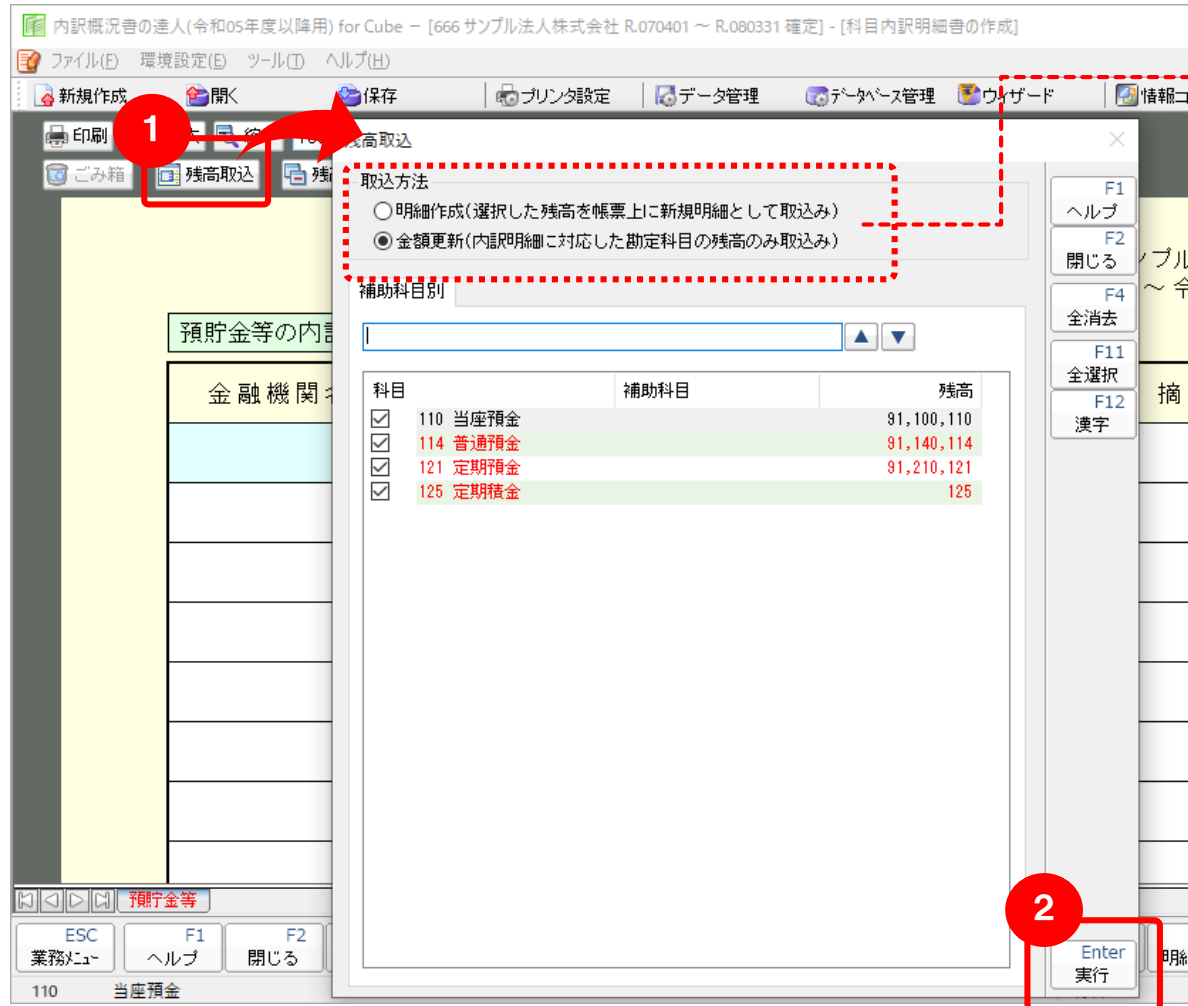
※次ページで記載しています

この後、次ページに記載する「財務連動（残高取込）」が必要です

●基本操作（データ選択後）の変更内容

③ 財務連動（残高取込）

- 財務残高を使用している帳票（内訳書・概況書）で「残高取込」を行います。



「取込方法」の選択

財務連動が初めての場合は「明細作成」を選択

当該データで初めて財務連動を行った場合は、「明細作成」を選択します。

「明細作成」では、財務の各科目残高を新規行として取り込みます。

取込方法

- ☒ 明細作成(選択した残高を帳票上に新規明細として取込み)
- ☐ 金額更新(内訳明細に対応した勘定科目の残高のみ取込み)

すでに財務連動を行っている場合は「金額更新」を選択

すでに財務連動を行っているデータの場合は、「金額更新」を選択します。

「金額更新」では、既存明細の金額部分を更新します。

取込方法

- ☐ 明細作成(選択した残高を帳票上に新規明細として取込み)
- ☒ 金額更新(内訳明細に対応した勘定科目の残高のみ取込み)

※R4シリーズで「財務連動」を行っていたデータも、連動科目情報は引き継がれているので、こちらを選択してください。

07

電子申告 操作の変更点

はじめに

- 電子申告システムは、今回のリニューアルにより大きく仕様が変わるシステムの一つです。
はじめに、特にご理解いただきたい内容として、以下の8つについてご確認をお願いします。

- | | | |
|---|------------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 納税者（会社データ）単位という概念がなくなります | ※全納税者分、串刺しでのデータ管理になります |
| 2 | エプソンの会計シリーズからの取込のみに対応しています | ※R4シリーズからは取り込みできません |
| 3 | 自動連動のみの対応となります | ※手動連動は非対応となります |
| 4 | 電子申告R4からのコンバートはありません | ※暗証番号のみ電子申告R4から移行可能です |
| 5 | 国税と地方税は別々の操作に変わります | ※データー一覧表示、操作ともに別々です |
| 6 | データベースの新規作成が必要です | ※他税務申告アプリ同様です |
| 7 | (ご注意)データにパスワードの設定を行うことはできません | ※一覧に表示されるデータは全て閲覧可能です |
| 8 | (重要)利用者権限設定をお願いします | ※対応を誤ると、税理士等の申告情報を他職員が参照できてしまう恐れがあります |

●はじめに

納税者（会社データ）単位という概念がなくなります

- 納税者（顧問先）単位という区切りを持ちません。
起動すると、全納税者分の申告データが表示されます。

「納税者（会社データ）選択」
という操作がありません

納税者選択画面

起動すると
データ一覧画面
が表示されます

エプソンの電子申告

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

接続先選択 最新の情報に更新 データベース管理 サポートメニュー

直近3年分表示 切替(D)

全事業者表示

国税電子申告

- 1.取込
- 2.検証
- 3.署名
- 4.送信
- 5.メッセージ確認・納付

地方税電子申告

- 1.取込
- 2.検証
- 3.署名
- 4.送信
- 5.メッセージ確認
- 6.共通納税

送受信の設定

進捗管理

オプション

国税電子申告 取込

エプソンの会計シリーズや外部で作成した帳票データを取り込み、申告・申請等データを作成します。

年度: 作成状況:

☐ 送信済データを表示しない

☐ 選択行のみを表示する

6件のデータが存在します

申告・申請等名称	提出先	事業者...	利用者識別番号	利用者名	フリガナ	法人個...	作
所06所得税及び復興増徴税	麹町税務署	00000009	111111111111119	所得 太郎	ショクト...	個人	
所06所得税及び復興増徴税	神田税務署	00000010	1111222211111120	年金 太郎	ネンキン...	個人	
所06所得税及び復興増徴税	足立税務署	100	1111333311111109	サンプル 花子	サンプル...	個人	
所06所得税及び復興増徴税	横浜中税務署	999999	1111222233334444	税理士 太郎	ゼイリシ...	個人	
法07内国法人の確定申告	町田税務署	DEMO	2000111111111111	デモ商事 株式会社	デンシシ...	法人	
法07内国法人の確定申告	目黒税務署	HOJ01	2222222233334444	法人 株式会社	ハウジン...	法人	

エプソンの会計シリーズからの取込(I) 追加送信データ等作成(S)

申告データ[xtx]の取込(X) 納付情報登録依頼作成(N)

全選択(A) 変更(U) 出力(O) 削除(D) 詳細(P) 一括変更(C)

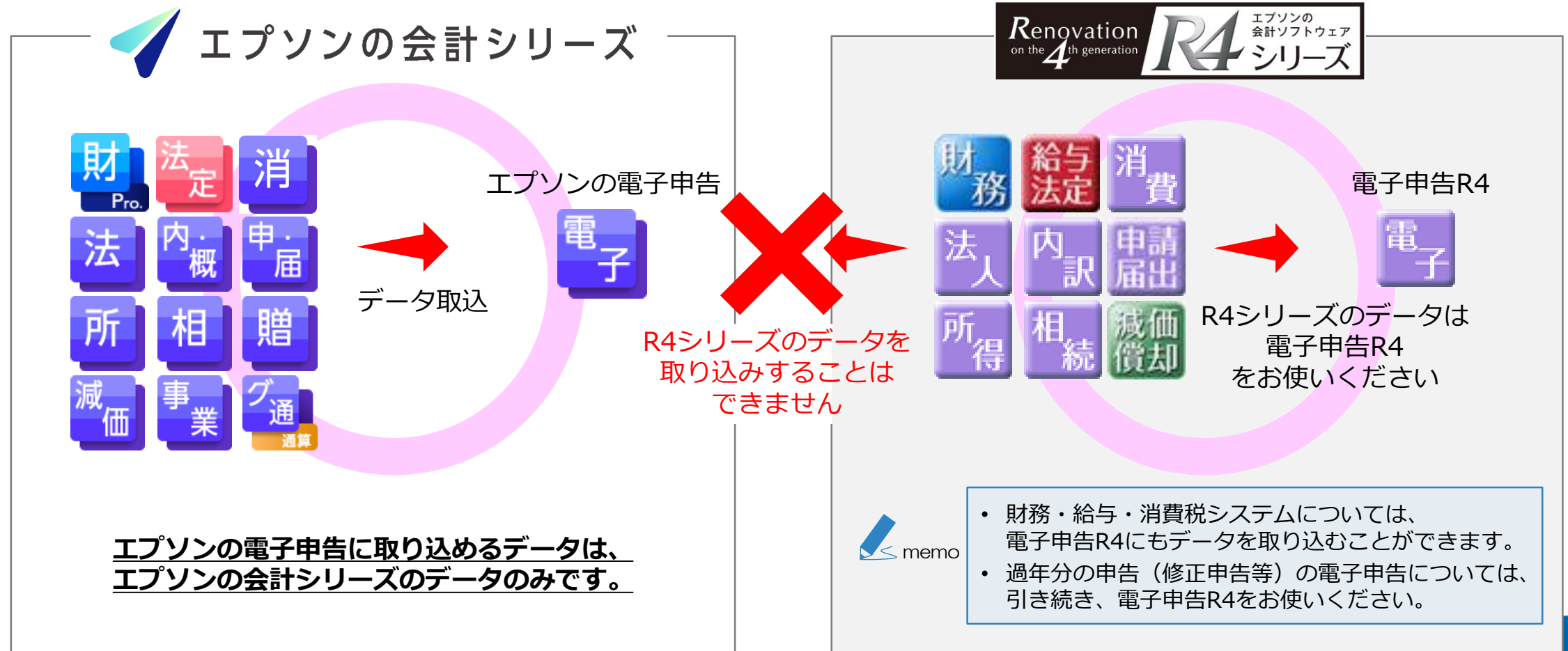
ゴミ箱

起動すると全納税者(会社)分
の申告データが表示されます

●はじめに

エプソンの会計シリーズからの取込のみに対応しています

- エプソンの電子申告は、「エプソン会計シリーズ」からの取り込みのみに対応しています。R4シリーズのデータ取込には対応していません。



●はじめに

自動連動のみの対応となります

- 「エプソンの電子申告」への取り込みは、「エプソンの電子申告」からの取込操作のみ（自動連動のみ対応）です。



データ取込
(自動連動)



データ取込は
エプソンの電子申告のみの
操作で行います

※取り込みを行うアプリと電子申告システムが同一PCにインストールされている必要があります

R4シリーズでは、各アプリ（財務や法人税）などで「電子申告ファイル出力」を行い、別PCの電子申告R4で、その出力したファイルを取り込む（＝手動連動取り込み）ことができたが、エプソンの電子申告ではこの取込方法は非対応となります。



(別PCへ移動)



新シリーズでは
この運用はできません！

●はじめに

電子申告R4からのコンバートはありません

- 電子申告R4からのデータコンバートはありません。
電子申告R4を使って電子申告したデータの内容確認を行うには引き続き電子申告R4をお使いください。
エプソンの電子申告では、これから新しく電子申告する場合に使用します。

電子申告R4に保存した暗証番号をエプソンの電子申告に移行する

電子申告R4で保存され利用していた「国税利用者識別番号・地方税利用者IDとその暗証番号」については、以下の方法で、エプソンの電子申告に引き継ぐことができます。

1 電子申告R4でファイル出力



メニューバーの [ファイル]
→ [利用者識別番号等の暗証番号をファイルに出力]



2 エプソンの電子申告でそのファイルをインポート



- ① 画面左下の [送受信の設定]
- ② 画面右上の [インポート] — [CSVファイルからのインポート]
- ③ 「ファイル名」の [参照] ボタンから、電子申告R4で出力した CSVファイルを指定して、[インポート]

※②③は、国税・地方税の別に行います。

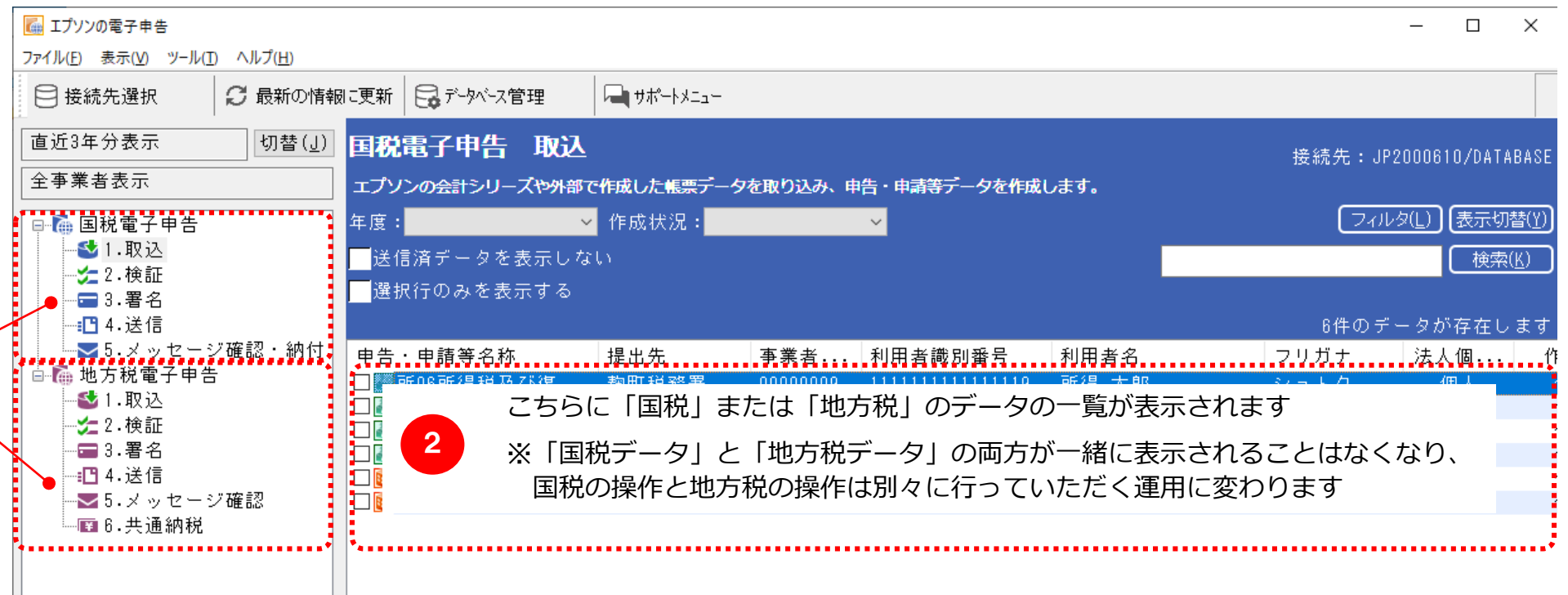
※[QAID : 5677 電子申告R4で利用していたログイン時の暗証番号を新シリーズで利用する](#) で、画面付きで手順を公開しています。

●はじめに

国税と地方税は別々の操作に変わります

- 電子申告R4では、国税と地方税を同時に取り込んだり、署名送信したりと、一連の作業をシームレスに行えました。

エプソンの電子申告では「国税」と「地方税」のデータ表示や操作（取込・署名送信を含む）は、それぞれ別々になります。



●はじめに

データベースの新規作成が必要です

- エプソンの会計シリーズ（税務申告）では、初めに「データベースの作成」を行う必要があります。

1 台のPCで使用する場合

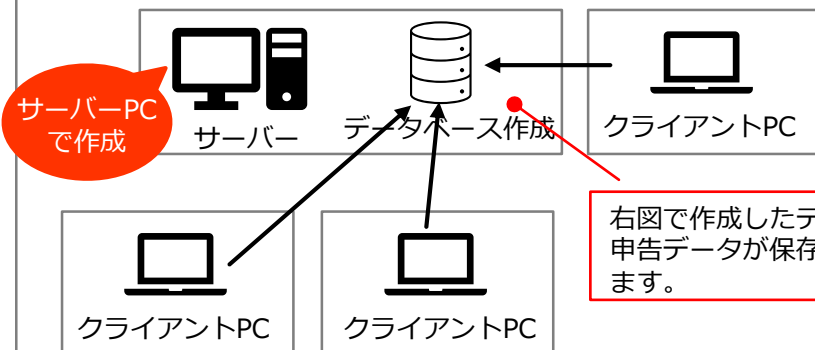
システムを使用するPCで「データベース作成」（右図）を行います



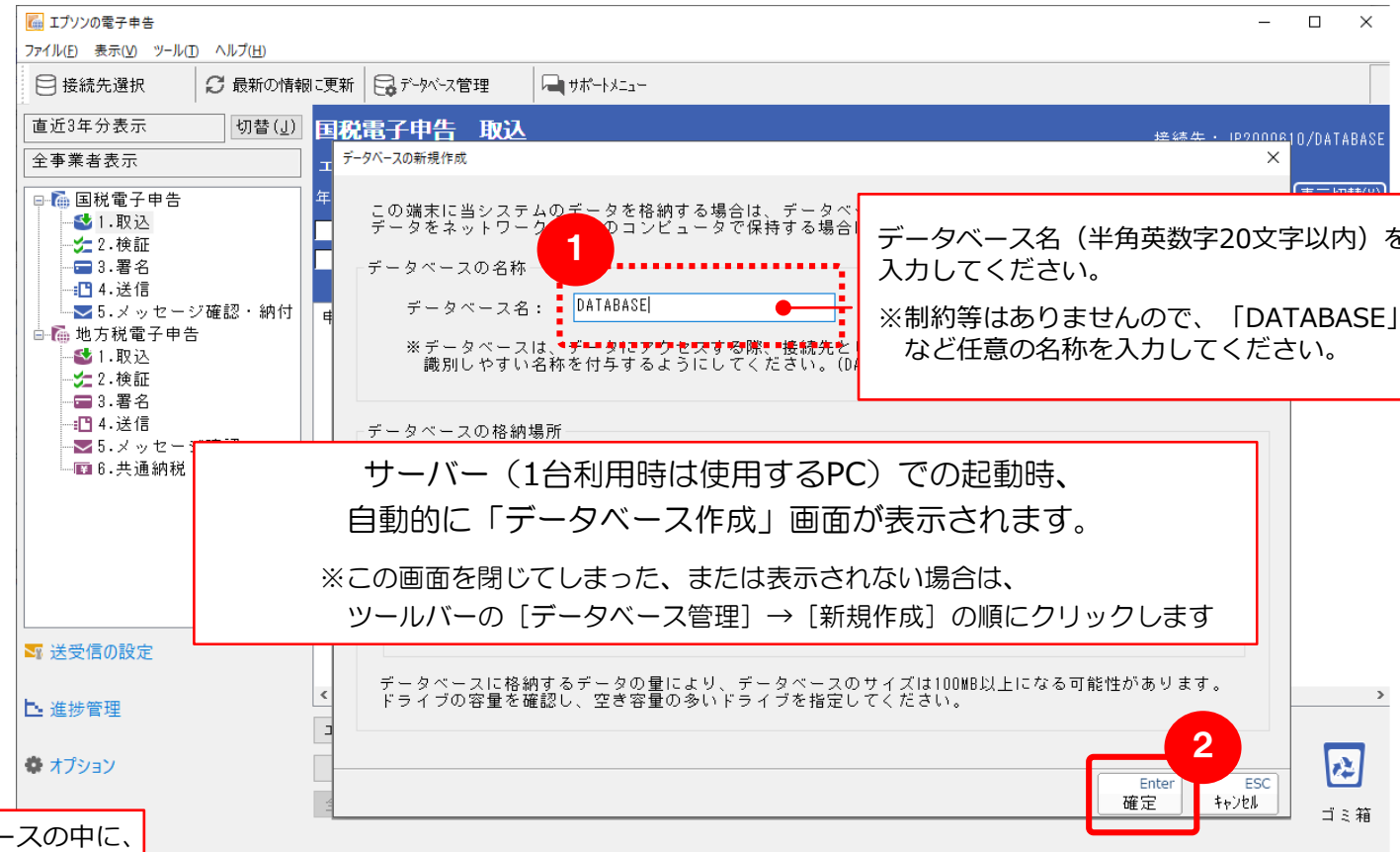
LAN環境で複数のPCでシステムを使用する場合

LAN環境で複数のPCでシステムを使用する場合は、**サーバーPCで「データベースの作成」**（右図）を行います

※サーバーPCにもシステムのインストールが必要です



右図で作成したデータベースの中に、申告データが保存されるようになります。



他税務申告のアプリ（法人税や所得税）では、この後に「データ作成」が必要ですが、電子申告システムでは「はじめに 納税者単位という概念がなくなります」に記載のとおり、納税者単位という概念がないため、この作業のみです。

●はじめに

(ご注意)データにパスワードの設定を行うことはできません

- 「[「はじめに 納税者（会社データ）単位という概念がなくなります」](#)」に関連しますが、電子申告システムではデータにパスワードの設定を行うことができません。

複数端末（複数利用者）でご利用いただく場合、E i ボードで設定できる「利用者権限設定」の活用をお願いいたします。（次ページ参照）

※適切な対応を行わないと、税理士自身の申告情報を他職員が参照できてしまう恐れがあります。

電子申告R4

電子申告R4では、納税者データに対してパスワード設定ができました。（新シリーズでは使用できなくなります）

00.データ選択 01.納税者基本情報 02.状況一覧 03.作成・確認 04.印刷

選択 (F10) 作成 (F2) 検索 (F3) 納税者情報変更 (F4) 再表示 (F5) パスワード

コード: zeitaro 法人/個人: 全て

コード	名称
zeitaro	税理士 太郎

パスワードを設定したデータは、パスワードを入力しないと開けない

納税者パスワードの入力

実行(F10) キャンセル(Esc)

コード zeitaro
名称 税理士 太郎
決算月 12月

パスワードを入力します。

新シリーズではこの運用はできません！

■ 「(ご注意)データにパスワードの設定を行うことはできません」に記載しましたとおり、電子申告システムでは、申告データや受信メッセージ(受付結果等)について、パスワード保護の設定ができませんので、E i ボードで行う「利用者権限設定」の対応をお願いします。



そのような事態を防ぐため、E i ボードの「利用者権限設定」を必ず行ったうえで、システムをご利用くださいますようお願いいたします。

電子

ご注意ください



対応をお願いします)

[QAID:5680 【電子申告】税理士等のデータを保護するため、利用者権限設定を行う](#)

●基本操作 法人税（国税）の申告手順例

- ここからは「法人税（国税）の申告（取込～送信）」の操作手順を記載し、操作のポイント等を補足します。

1 法人税システムで利用者識別番号を登録 ※利用者識別番号等は各アプリでの登録に変わります

2 データ取り込み（国税） ※財務諸表（決算書）の取込方法が大きく変わります

3 取込データの確認 ※大きな変更はありません

4 検証、署名 ※検証（スキーマチェック）ができるようになります

5 送信 ※自動ダイレクトに対応します

6 受付結果確認 ※受付結果は自動的に受信します

●基本操作 法人税（国税）の申告手順例

① 法人税システムで利用者識別番号を登録

- 新シリーズでは、各アプリ（法人税や所得税）で利用者識別番号等の登録を行っていただくように変わりますので、法人税システムで、国税利用者識別番号（地方税利用者ID）が登録されていることをご確認ください。



エプソンの会計シリーズ

利用者識別番号等は
こちらで登録します



エプソンの電子申告



データ取込



旧シリーズでは、
電子申告システム側で
登録していただく運用
でしたが、
変更となります。

法

法人税システム（「基本情報の登録」画面）

法人税システム（「基本情報の登録」画面）で、利用者識別番号等が登録されていることを確認してください。

基本情報の登録

接続先: JP2101215/hojin36 参照

基本情報 ● 計算情報 申告情報

法人コード: 000

納税者の利用者識別番号等は、
[基本情報] タブで登録します

利用者識別番号 (e-Tax): 2111-2222-3333-4444 参照

利用者ID (eLTAX): abc11111111

Ctrl+ 確定

ESC キャンセル

基本情報 計算情報 申告情報 還付先金融機関情報 税理士情報 ●

フリガナ: ゼイリシタロウ

代理人税理士分も登録が必要です
代理人税理士分は、
[税理士情報] タブで登録します

利用者識別番号 (e-Tax): 1111-5555-6666-7777

利用者ID (eLTAX): xyz99999999

Ctrl+ 確定

ESC キャンセル

※法人税R4からコンバートしたデータの場合は、電子申告R4に登録されていた情報が初期設定されますのでご安心ください。

●基本操作 法人税（国税）の申告手順例

② データ取り込み（国税）

- 「国税電子申告」の「1.取込」を選択して、取り込みを行います。

エプソンの電子申告

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

接続先選択 最新の情報に更新 データベース管理 サポートメニュー

直近3年分表示 切替(J)

全事業者表示

1. 国税電子申告

1. 取込 2. 検証 3. 署名 4. 送信 5. メッセージ確認 6. 共通納税

地方税電子

1. 取込 2. 検証 3. 署名 4. 送信 5. メッセージ確認 6. 共通納税

国税電子申告の「1.取込」を選択

「法人税システム（別表・財務諸表）」と「内訳概況システム（内訳書・概況書）」から申告帳票を取り込みます。

エプソンの会計シリーズからの取込 (1)

税務申告からの取込 取込(X)

消費税込取込 源泉所得税取込 法定調書等取込

「エプソンの会計シリーズからの取込」 - 「税務申告からの取込」を選択

【R4との違い】

Point 財務からの決算書取込はありません

財務諸表（決算書）は、**事前に法人税システムに取り込みをしていただく**運用に変わります。

Renovation on the 4th generation R4 エプソンの会計ソフトウェアシリーズ

法人 財務 内訳 電子

R4では、財務から直接取り込みを行っていました

運用変更

エプソンの会計シリーズ

① 先に法人税に財務諸表を取り込みます

② 法人税データと内訳概況データを取り込みます

- 取り込んだ申告データをプレビュー画面で確認します。



●基本操作 法人税（国税）の申告手順例

4 検証、署名

- 新たに「検証（スキーマチェック）」に対応しました。検証後、電子署名を行います。



検証（スキーマチェック）とは？

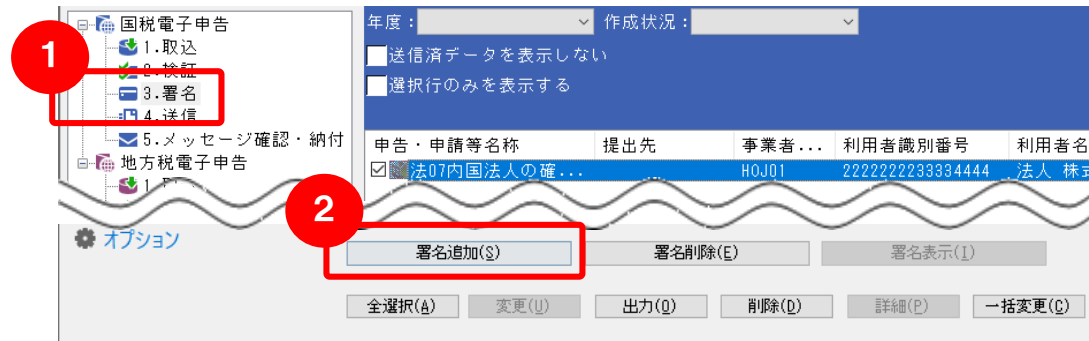
電子申告データのファイル構造に問題がないかをチェックする機能です。ファイル構造に問題があるデータを送信すると、受付結果で「HUBH001E：送信されたデータ形式では読み取ることができません」のエラーが発生します。

旧システムではこの機能に対応していなかったため、稀に本トラブルが発生した事例（[参考FAQ](#)）がありました。

※【スキーマチェック】は必須ではありません

事前に行われていない場合は、送信時に自動でチェックするため、この工程は省略することもできます。（送信する件数が多い場合は時間がかかるため、この操作を事前に行うことで送信時間の短縮をはかることができます。）

- 検証が終わったら、「電子署名」を行います。



署名・送信の同時処理にも対応しています

【4.送信】（次ページ記載）にある【送信】ボタンは、設定により【署名追加・送信】に変更することができます。（以下、FAQ参照）

[QAID：5678 署名と送信を「署名・送信」ボタンで連続実行する設定](#)

●基本操作 法人税（国税）の申告手順例

5 送信

- 多数のご要望をいただいていた自動ダイレクトに対応します。

自動ダイレクトとは？

Point

送信と同時にダイレクト納付の手続きも済ませることができる機能です。

自動ダイレクトを利用すると、口座引落日は各申告手続の法定納期限となります。

e-Taxで2024年4月から利用可能となって以来、多くのご要望をいただいておりますが、新シリーズで対応いたします。

自動ダイレクト対象確認

以下の内容で自動ダイレクトでの送信を実行します。実行する場合は「次へ」、選択し直す場合は「キャンセル」をクリックしてください。

自動ダイレクトが可能な利用条件数：1件
自動ダイレクトが可能な納付金額（合計金額）：X,XXX,XXX円

利用条件番号	氏名または名称	手続名	引落日	納付金額	引き落とし口座
2111111111111111	株式会社 法人	内国法人の確定申告...	XXXX/XX/XX	X,XXX,XXX円	〇〇銀行 本店 普通預金 XXXXXX

引落日、納付金額、引落口座が表示されます。表示の内容で問題なければ、「次へ」をクリックして送信に進みます。

「次へ」クリック後は、もう一度送信確認メッセージが表示されますので、最終確認のうえ、送信を行って完了となります。

●基本操作 法人税（国税）の申告手順例

6 受付結果確認

- 受付結果は自動的に受信されますので、[受付結果] ボタンをクリックして確認します。

エプソンの電子申告

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

接続先選択 最新の情報に更新

直近3年分表示 切替(D)

全事業者表示

国税電子申告

- 1. 取込
- 2. 検証
- 3. 署名
- 4. 送信**
- 5. メッセージ確認・納付

地方税電子申告

- 1. 取込
- 2. 検証
- 3. 署名
- 4. 送信
- 5. メッセージ確認
- 6. 共通納税

送受信の設定

進捗管理

オプション

メッセージ詳細

事業者コード: 2000 利用者名: サンプル株式会社

メール詳細

送信されたデータを受け付けました。
なお、後日、内容の確認のため、担当職員からご連絡させていただく場合がありますので、ご了承ください。

提出先 保土ヶ谷税務署
利用者識別番号 2834181015107088
氏名又は名称 サンプル株式会社
代表者等氏名 代表 太郎
受付番号 20250518145147432511
受付日時 2025/05/18 14:51:47
種目 法人税及び地方法人税申告書
事業年度 自 令和07年04月01日
事業年度 至 令和08年03月31日
税目 法人税

保存 ダウンロード PDF変換 交付済

2 受付結果(Q)

全選択(A) 変更(U) 出力(O) 削除(D) 詳細(P) 一括変更(C)

Point

「PDF変換」で送信した申告書等の内容を確認できます

「PDF変換」をクリックすると、送信した申告書等の内容をPDFファイルに変換します。

電子申告完了済 受付日時: 2025/08/18 14:51:47 受付番号: 20250818145147432511

旧システムで「完了報告書」として出力していた帳票に相当します。「電子申告完了済」の表示とともに、受付日時と受付番号が各帳票に印字されます。

● その他の変更（主なもの）

- 地方税の申告を行う際、事前に提出先追加をしなくてもいいようになります。（下図のように、送信の直前に自動で追加が行えるようになり、利便性が向上します。）

Point 地方税 [提出先登録]

こちらをクリックすると、左図の確認メッセージが表示され、送信データの提出先公共団体を提出先先として登録します。

- 地方税の申告に行う際、eLTAXに登録した利用者情報ではなく、各アプリに登録した情報を使用ようになります。（法人名、所在地、代表者名など）

法

所在地	北海道札幌市中央区北1条西16丁目5番地 (電話 011 - 1234 - 5678)
法人名	サンプル株式会社
代表者名	代表 太郎

電

所在地	北海道札幌市中央区北1条西16丁目5番地 (電話 011-1234-5678)
法人名	サンプル株式会社
代表者名	代表 太郎

アプリの登録内容がそのまま入ります



R4ではeLTAXに登録した利用者情報を反映していたため、以下のような問い合わせをいただくことがありましたが、これがなくなります。

OAID4538：【電子申告R4】電子申告に取り込むと、代表者名が変わってしまいます

● その他の変更（主なもの）

- メッセージ（受信通知やお知らせ）についても全納税者分を一覧で表示できるようになります。

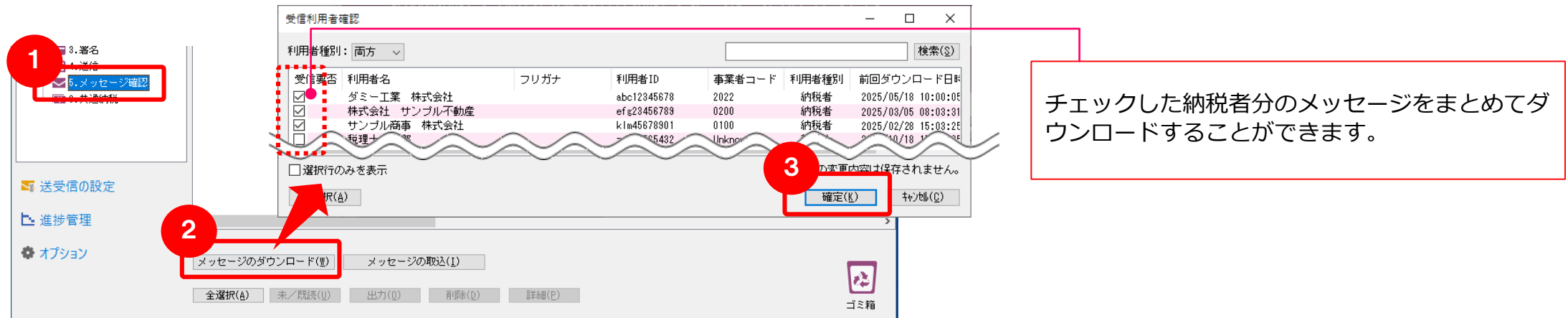
メッセージ区分： ☒ 申告分 ☒ 申請等分 ☒ 税額通知分							
7件のデータが存在します							
未/既	利用者ID ▲	氏名または名称	フリガナ	事業者コード	受付結果	税目	
☐	abc12345678	株式会社 サンプル商事	カ) サンプル...	0010	未審査	法人設立	法人設立
☐	abc12345678	株式会社 サンプル商事	カ) サンプル...	0010	審査中	法人設立	法人設立
☐	abc12345678	株式会社 サンプル商事	カ) サンプル...	0010	受付完了	法人設立	法人設立
☐	efg23456789	株式会社 電子申告	カブシキガイ...	0200	受付完了	法人市町	法人市町
☐	efg23456789	株式会社 電子申告	カブシキガイ...	0200	受付完了	法人市町	法人市町
☐	klm45678901	見本 株式会社	ミホン カブ...	0100	受付完了	法人市町	法人市町
☐	klm45678901	見本 株式会社	ミホン カブ...	0100	受付完了	法人市町	法人市町

全納税者分を一つの画面で確認できるようになります。

- 納税者データに対して行う処理（暗証番号の変更や委任関係の登録等）は、[送受信の設定] ボタンから行います。
- 暗証番号の保存はデータベースで行います。（R4ではPCで保存していたため運用が変わります。）
- 個人番号を含む申告データ（個人の申告データ等）を送信するには、「マイナンバー取扱権限」が必要です。

● その他機能追加（主なもの）

- 帳票の追加送信に対応しました。（R4ではファイルの追加送信のみに対応していました。）
- 複数納税者のメッセージ一括ダウンロードができるようになります。



- 国税予納、地方税みなし・見込納付の納付情報登録依頼作成に対応しました。
- 地方税個人住民税の納付情報登録依頼について、「過去の納付情報から作成」「CSVファイル取込から作成」に対応しました。
- 国税について、振替納税結果、還付金確認の閲覧に対応しました。（「[送受信の設定] ボタンからアクセスします。）

EPSON